

1 2 3 4 5 6 7 8 9 21

殖產局出版第四七二號

臺灣米概說

臺灣總督府殖產局商工課

6

611
1

緒言

我臺灣ハ自然ノ天與ヲ亨ケ各種農産物豊穰ニシテ就中米ハ本島三大重要物産ノ首位ヲ占メ其ノ年産額六百萬石ヲ算シ優ニ自給自足ノ域ヲ脱シ尙二百萬石ノ移出餘カヲ有スル現状ニアリ、而シテ近年斯業ニ關スル各般ノ施設大ニ備ハリ品質ノ向上産額ノ增收著シキモノアリ殊ニ内地種米ノ出現ハ本島米界ニ於ケル一大紀元ヲ劃セルモノト云フヘク品位收量共ニ進展ノ趨勢ニアリ是實ニ邦家將來ニ於ケル食糧問題ニ貢獻スル所尠ラサルモノト信ス

本編ハ本島ニ於ケル米穀ノ生産及検査ノ狀況竝ニ取引ノ状態ヲ掲ケ各關係者ノ參考ニ資セントス

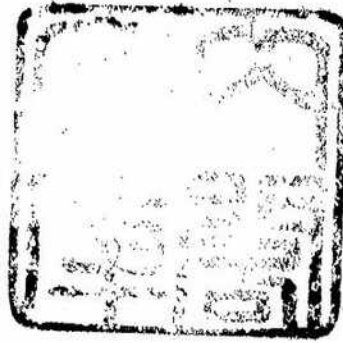
大正十五年三月 日

臺灣總督府殖産局商工課

Uyeno

Tōkyō

內閣文庫	一冊
八六三四号	
和書	



臺灣米概說

目次

第一章	氣象及地理	一
	氣象	一
	土地及住民	五
第二章	稻作概況作付面積及收穫高	二
	稻作概況	二
	作付面積及收穫高	三
第三章	稻ノ種類	三
	在來種	三
	內壩種	四
第四章	米穀検査	五
	検査ノ概要	五

(二) 檢査成績.....	二
(一) 搬出米檢査成績.....	三
(ロ) 移出米檢査成績.....	三
第五章 米穀ノ取引狀況.....	四
(一) 粳稻業.....	四
(二) 農業倉庫.....	五
(三) 正米市場.....	六
(四) 精米業.....	七
(五) 移出商.....	八
第六章 米穀ノ輸移出入狀態.....	八
第七章 米價.....	九
第八章 臺灣米ノ將來.....	九
附錄 臺灣正米市場規則.....	九

臺灣米概説

第一章 氣象及地理

(一) 氣象

作物ノ發育ハ氣象ニ依リ左右セラルモノニシテ殊ニ稻ノ如キ短期間ニ成育ヲ遂クルモノト雖モ氣象ノ影響ヲ受クルコト甚大ナリ去レハ一度氣候ノ順ヲ失ハシカ忽チ其ノ成育ヲ傷フニ至ルヘク是レ豊凶ノ因テ岐ルル所以ニシテ農業者ノ最モ深キ注意ヲ要スル所ナリ殊ニ本島ノ如キ二毛ノ稻ヲ作スル地ニ在リテハ氣候ノ天恵ニ待ツモノ極メテ大ナルヲ知ルヘシ

抑モ稻ハ高温ノ地ニ適スル作物ニシテ臺灣ノ如キ亞熱帯ニ相接スル地ハ暑氣長クシテ冷氣短ク好ク稻作ニ適シ島内隨所稻ノ栽培ヲ見サルハナシ然レトモ南北兩端自ラ氣温ノ差ヲ有シ雨量亦其ノ度ヲ異ニス北部ハ冬期雨多シト雖モ南部ハ盛夏雨期ニ際會スルヲ以テ耕作狀態兩地其ノ趣キヲ同フセス蓋シ北部ハ一期作ニ於テ多キヲ占メ南部ハ二期ノ作付ニ多キヲ見ルモ理ナリ今左ニ本島氣象ノ狀況ヲ示シ參考ニ供セン

第一表 氣 温 (平均攝氏)

測候所	花港	東港	南港	中港	北港
一月	二六二	二八八	二八八	二五二	二五二
二月	二七四	二八七	二七七	二五二	二四六
三月	二八九	二七七	二九六	二八三	二八九
四月	二二八	二五五	二五四	二三〇	二二八
五月	二二七	二五〇	二五八	二四七	二二七
六月	二六五	二七〇	二七〇	二八八	二八八
七月	二七三	二七五	二七六	二七六	二六〇
八月	二七〇	二七三	二七四	二七五	二七八
九月	二五九	二六四	二六九	二六五	二五五
十月	二五四	二四四	二四八	二五七	二五二
十一月	二二二	二二二	二二六	二二五	一九七
十二月	二八七	二九九	二八三	二七二	二六七
全年	二五二	二五二	二五二	二五二	二五二
最高	二八七	二九九	二八三	二七二	二六七
最低	二二二	二二二	二二六	二二五	一九七

備考 本表ハ明治三十四年ヨリ大正九年ニ至ル二十箇年中毎五年平均四回分チ更ニ平均シテ累年平均トシタルモノナリ但シ花港港ハ大正五年ヨリ九年迄五箇年平均ナリ以下諸表亦同シ

第二表 湿度 (百分率)

測候所	花港	東港	南港	中港	北港
一月	七〇	七〇	六八	六八	六八
二月	六八	六八	六八	六八	六八
三月	六八	六八	六八	六八	六八
四月	六八	六八	六八	六八	六八
五月	六八	六八	六八	六八	六八
六月	六八	六八	六八	六八	六八
七月	六八	六八	六八	六八	六八
八月	六八	六八	六八	六八	六八
九月	六八	六八	六八	六八	六八
十月	六八	六八	六八	六八	六八
十一月	六八	六八	六八	六八	六八
十二月	六八	六八	六八	六八	六八
全年	六八	六八	六八	六八	六八
最高	六八	六八	六八	六八	六八
最低	六八	六八	六八	六八	六八

備考 前表ニ同シ

第三表 雨量 (mm)

測候所	花港	東港	南港	中港	北港
一月	六六	六六	六六	六六	六六
二月	二八	二八	二八	二八	二八
三月	一七	一七	一七	一七	一七
四月	三五	三五	三五	三五	三五
五月	二五	二五	二五	二五	二五
六月	三九	三九	三九	三九	三九
七月	三七	三七	三七	三七	三七
八月	二六	二六	二六	二六	二六
九月	二五	二五	二五	二五	二五
十月	二八	二八	二八	二八	二八
十一月	二七	二七	二七	二七	二七
十二月	二八	二八	二八	二八	二八
全年	二八	二八	二八	二八	二八
最高	二八	二八	二八	二八	二八
最低	二八	二八	二八	二八	二八

備考 前表ニ同シ(一日二十四時間中ニ於ケル水量ノ最も多キモノヲ謂フ)

第四表 暴風日数 (1) (十米突以上)

測候所	花港	東港	南港	中港	北港
一月	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
二月	九	九	九	九	九
三月	三	三	三	三	三
四月	八	八	八	八	八
五月	七	七	七	七	七
六月	五	五	五	五	五
七月	六	六	六	六	六
八月	七	七	七	七	七
九月	八	八	八	八	八
十月	三	三	三	三	三
十一月	三	三	三	三	三
十二月	二	二	二	二	二
全年	二	二	二	二	二
最高	二	二	二	二	二
最低	二	二	二	二	二

備考 前表ニ同シ(本表ハ風速十米突以上ノ日數ヲ探レリ)

第五表 暴風日數 (二十五米突以上)

測候所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
臺北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臺中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臺南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臺東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
花蓮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
花蓮港	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

備考 前表ニ同シ(本表ハ風速十五米突以上ノ日數ヲ採レリ)

第六表 日照時數

測候所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
臺北	497	570	633	696	759	822	885	948	1011	1074	1137	1200	1074
臺中	497	570	633	696	759	822	885	948	1011	1074	1137	1200	1074
臺南	497	570	633	696	759	822	885	948	1011	1074	1137	1200	1074
臺東	497	570	633	696	759	822	885	948	1011	1074	1137	1200	1074
花蓮	497	570	633	696	759	822	885	948	1011	1074	1137	1200	1074
花蓮港	497	570	633	696	759	822	885	948	1011	1074	1137	1200	1074

備考 前表ニ同シ

(二) 土地及住民

臺灣ハ其ノ形狀宛モ甘藷ニ似タル一島嶼ニシテ面積二千三百三十二方里ニシテ人口三百九十五萬六千人(蕃人ヲ除ク)ヲ有シ地形南北ニ長クシテ東西ニ狭ク其ノ中央ヲ縱貫セル分水高嶺アリ頗ル峻嶮ニシテ海拔七千尺以上ノモノ百五十座就中一萬尺以上ニ及フモノ四十八座ヲ算ス河川ハ此ノ高嶺ヨリ出テ東西ニ分流シ流長四十里ヲ越ユルモノ稀ナリ蓋シ東西ノ地幅狭ク山嶽高峻ナルカ故ナリ而シテ濁水、大安、大甲、淡水諸溪ノ如キハ河幅凡ソ一里ノ廣キニ亘リ一度豪雨ニ會セハ洶流滔々トシテ漲溢シ年々河床ヲ變シ田園ヲ流シ作物ヲ害スル例乏シカラス之レカ爲メ護岸ノ工ヲ起シ流身ヲ定ムルト共ニ耕地ノ増加ヲ計リツツアリ

本島ヲ地勢ニ依リテ別テハ東部臺灣、西部臺灣及蕃界ノ三トス而シテ西部臺灣ハ臺北、新竹、臺中、臺南、高雄ノ五州ニ分タル地勢概ネ平坦ニシテ(臺南州下ハ看天田ト稱シ天水ヲ待テテ作付スル地少ナカラス)米作及蔗作ニ適シ一望殆ト稻田、蔗田ナラサルハナシ而モ近年新地ノ開拓普ク遠ニ山腹ノ傾斜地ニ及フニ至レリ即チ本島農耕ノ如何ニ發達セルカヲ知ルヘキナリ

東部臺灣トハ東海岸ニ沿ヘル花蓮港、臺東ノ二廳ヲ指ス山嶽重疊絶壁脚下ノ直チニ海ニ莅ムモノ少ナカラス從テ平野少ク交通亦不便ニシテ處々ニ未墾地アリ又既墾地ニアリテモ勞力ノ不足水利ノ不備ナル處多ク今後ノ施設ニ待ツヘキ事大ナリ

本島中ヨリ此ノ兩部ヲ除ケハ即チ之レ蕃地ニシテ其ノ面積一千八百八方里恰モ内地ノ四國ト相比適ス蕃人ノ人口僅ニ八萬四千人ト稱スルモ之レ所謂生蕃ニシテ海拔六、七千尺ノ高山深谷ニ住ミ時ニ出テ耕作ニ從事スルト雖モ主トシテ獸獵鬪爭ヲ事トシ由來化外ノ民タリ清ノ領有當時屢々征伐ヲ試ミシモ多クハ其ノ效空シキニ期セリ曩ニ督府ハ理蕃ノ大方針ヲ立テ著々其ノ蹟ヲ舉ケ今ヤ理蕃政策ハ威壓時代ヲ脱シ撫育時代ニ入リ授産ト教化ニ力ヲ注キ來リシ結果蕃人ハ漸ク遊牧原始的生活ヲ脱シテ經濟的生活ニ轉セントスルノ萌芽著シキモノアリテ境土悉ク皇化ニ霑ニ至レリ

本島ヲ構成スル地質ハ主トシテ水成岩ニ屬シ變質岩及火成岩等ハ比較的少シ即チ水成系統タル粘板岩系ハ本島ノ脊梁ヲナシ南北ニ貫徹シ高モ廣キ區域ヲ占メ第三系及第四系ハ順次西方ニ重疊シテ本島ノ大半ニ亘ルモノニシテ臺北平野ハ主トシテ淡水河ノ流域ニ當リ水流ハ多クハ第三系ノ間ヲ迂廻シテ流レ來ルヲ以テ沖積土壤ハ砂岩若シク頁岩ノ崩壊粉碎セルモノニ係リ埴質土壤多シトス灌溉ノ便アルヲ以テ水田ニ富ミ土性中庸ニシテ生産力亦之ニ準ス宜蘭平野ハ殆ト全般粘板岩ノ土壤ニシテ多クハ重粘ナル埴土ナリ鹽基性ヲ呈スル處多シ灌溉ノ便アレトモ同時ニ排水不充分ニシテ植生ヲ阻害スル場合少ナカラス且ツ粘板岩質土壤ノ特徵トシテ磷酸ニ缺乏ス故ニ此ノ平野ニ於テハ灌溉排水ヲ調節シ磷酸肥料ノ施用ヲ緊要トス、桃園方面臺地新竹州ノ北三郡ニ亘リテハ其ノ海岸地方ノ一小部分ヲ除キ赤土層ノ最モ發達セル所ニシテ一般ニ臺地ヲナシ灌溉ノ便ニ乏シク多ク茶園トシテ利用セラル、土性極メテ重粘ニシテ有機物少ク且ツ所謂酸性ヲ呈スル處ナレハ地力

概シテ劣等ナリ新竹方面耕地ハ洪積地アリ沖積地アリ丘陵平地河川等雜然トシテ錯綜分布スルカ故ニ概言スルコト能ハサレトモ丘陵ヲナセル處ハ桃園方面臺地ト同一ニシテ地味劣惡ナリ洪積層ノ第三系ニ移ル所ニハ砂岩又ハ頁岩ノ分解シテ定積セルモノアリ沖積地ハ即チ河川ニ沿フ地方ニシテ第三系ニ屬スル岩石ヨリ成ル土壤ナルヲ以テ地方洪積層ニ比シ稍々優良臺中平野モ土性多様ニシテ第三系ニ位スル所ハ殆ト優良ナル耕地ヲ認メス又第四系洪積土ハ臺地ヲナシ少ナカラサル面積ヲ占ム土性ハ他州ノモノト大差ナシ嘉義平野ハ埴質土壤多ク臺南平野ハ海濱ノ農耕ニ適セサル處アルモ山地ニ添フ處ハ米作ニ適ス、屏東平野ハ殆ト粘板岩質ノ土壤ヨリ成リ砂岩及頁岩質ノ土壤ヲ混ス土性ハ砂土又ハ埴土ノ別アレトモ灌溉及肥培ヨク行ハル、花蓮港及臺東平野ハ共ニ結晶片岩質土壤ヨリ成リ耕地ノ多クハ鹽基性反應ヲ呈スル要素ニ富ミテ地力ノ佳良ナル處アリ本島ノ耕地面積ハ田ニ於テ三十四萬八千〇八十甲(一甲ハ内地ノ九反七畝二十四步ニ當ル)畑ニ於テ三十六萬四千三百甲ニシテ全土面積ノ約一割九分ヲ占メ看天田及畑地ニ陸稻ヲ栽培スルモノ少ナカラスト雖モ糖業ノ發達ト共ニ蔗作ヲナス者亦多キヲ加フルニ至リ土地ノ便否ト時ノ利害ニ依リ兩者互ニ交錯セラルルノ状態ニアリ而シテ本島ノ農耕ハ巧ミニ輪作法ヲ應用シ重粘ナル看天田若ハ畑地ヲ除クノ外ハ多ク一歲必ス二收アリ故ニ農民ハ殆ト終年耕鋤セサルハナシ而モ米作ハ臺灣農業經濟ノ根源ニシテ他ノ産業ニ比シ將來最モ改良發達ノ餘地ヲ存スルヲ以テ現在ノ耕地面積ヲ以テスルモ尙ホ多大ノ増收ヲ舉クルコトヲ得ルハ勿論更ニ新地ノ開墾竝ニ水利ノ普及ハ一層產額ノ増大ヲ期待シ得ヘキナリ

而シテ本島ニ於ケル農業者ハ二百十九萬九千人ニシテ全人口ノ六割四分強ニ當リ之ヲ業體別ニ區別セハ自作者三割二分小作者四割四分自作兼小作者二割六分ナリ左ニ田畑面積及農業人口ニ關スル累年ノ統計ヲ表示ス

耕地面積累年表

年次	田		計	指數	畑		合計	指數
	第一期作	第二期作			指數	指數		
明治三十五年			三三,九六八	100	一八,〇三三	100	五二,〇〇一	100
同 四十年			三三,八四〇	一〇〇	一七,九七〇	一〇〇	五一,八四〇	一〇〇
大正元年			三三,七三〇	一〇〇	一七,八六〇	一〇〇	五一,七三〇	一〇〇
同 六年	三〇,八四六	一八,六八三	四九,五二九	一三三	一三,三三三	一〇八	六二,八六二	一二一
同 九年	三〇,二六三	一八,五七〇	四八,八三三	一三二	一三,二二二	一〇八	六一,七二二	一二〇
同 十年	三〇,八六三	一九,八七〇	五〇,七三三	一三三	一三,五七三	一〇九	六四,三〇六	一二三
同 十一年	三〇,八六三	一九,八七〇	五〇,七三三	一三三	一三,五七三	一〇九	六四,三〇六	一二三
同 十二年	二八,九七〇	一八,九七〇	四七,九四〇	一三二	一三,四六二	一〇八	六一,四〇二	一二〇
同 十三年	二八,九七〇	一八,九七〇	四七,九四〇	一三二	一三,四六二	一〇八	六一,四〇二	一二〇

總人口ニ對スル農業人口ノ割合

年次	總人口	農業人口			總人口ニ對スル農業者種別ノ割合(%)		
		自作	自作兼小作	小作	自作	自作兼小作	小作
明治四十三年	三三,九四〇	七,三三七	四,〇七〇	一三,四四七	二一	一五	三六
大正二年	三三,〇二七	七,二四六	三,九〇九	一一,一五五	二〇	一四	三四
同 五年	三三,〇二七	七,二四六	三,九〇九	一一,一五五	二〇	一四	三四
同 八年	三三,〇二七	七,二四六	三,九〇九	一一,一五五	二〇	一四	三四
同 十年	三三,〇二七	七,二四六	三,九〇九	一一,一五五	二〇	一四	三四
同 十一年	三三,〇二七	七,二四六	三,九〇九	一一,一五五	二〇	一四	三四
同 十二年	三三,〇二七	七,二四六	三,九〇九	一一,一五五	二〇	一四	三四
同 十三年	三三,〇二七	七,二四六	三,九〇九	一一,一五五	二〇	一四	三四

次ニ本島水利灌溉ノ状態ヲ案スルニ米作ハ一ニ水利ノ便ヲ以テ要素トナスカ故ニ領臺前既ニ水路ヲ開鑿シ之ヲ利用シタルモノノ歴々徴スヘキモノアリ其ノ制度慣習ノ堅實ナル發達ヲ遂ケタルヨリ農産ノ振興ヲ促シタル事實大ニ見ルヘキモノアリ水田ノ灌溉ハ埤圳ニ依ルモノト天水ニ依ルモノトノ二種アリ濁水溪以北ノ地ハ大體ニ灌溉ノ便開ケタリシト雖モ以南ノ地ハ鳳山、屏東ヲ除クノ外多クハ天水ヲ待チテ初メテ栽植スルモノニシテ所謂看天田ノ稱アリ故ニ南部一帶ニ於テハ一期作ノ作付ハ降雨比較的少キヲ以テ耕作ノ割合亦尠ク二期作ニ於テハ恰モ兩期ニ會スルカ故ニ其ノ作付面積比較的多キヲ見ル蓋シ本島ノ氣候ハ一年二作ヲ得ルニ拘ラズ獨リ水利充分ナラサル爲メ沃土ノ利用ヲ空シタルノ止ムナキモノアリシヲ以テ督府ハ明治三十四年臺灣

公共埤圳規則ヲ制定シテ四十一年官設埤圳規則ヲ發布シ更ニ大正十年律令第十條ヲ以テ臺灣水利組合ヲ發
 布シ翌十一年府令第百二十三號ヲ以テ同施行規則ヲ設ケ官設埤圳組合規則、公共埤圳組合規則ト並ヒ行ハル
 ルコトナリ一面舊慣ヲ認ムルト共ニ他面政府自ラ水利開發ノ事ニ從ヒ以テ全島ニ於ケル大小溪流ヲ利用シ
 灌溉排水ノ便ヲ圖ラントスルニ至レリ現今埤圳ニ依リ灌溉セララルモノ實ニ三十三萬七千甲ニ達シ全島田面
 積ニ對スル約九割ニ相當セリ今左ニ官民設埤圳ノ灌溉面積表ヲ示サン

埤圳灌溉面積及ヒ灌溉歩合累年表

年 度 別	灌 溉 面 積			指 數	田 面 積 二 對 ス ル 灌 溉 面 積 ノ 割 合		
	水利組合	官設埤圳	公共埤圳		水利組合	官設埤圳	公共埤圳
大正元年	八二四	一八八五九	三三六四	100	三・四%	三三・二%	三六・六%
同 六 年	一一三七	二六四九	七二一	100	三・五%	三三・五%	三六・九%
同 九 年	一一九	二六四	一七三三	100	三・六%	三三・六%	三六・八%
同 十 年	二四八	二六二〇	八八〇	100	三・七%	三三・七%	三六・九%
同 十 一 年	二五二〇	二六三六	八八〇	100	三・七%	三三・七%	三六・九%
同 十 二 年	二四八	二六三六	八八〇	100	三・七%	三三・七%	三六・九%
同 十 三 年	二四八	二六三六	八八〇	100	三・七%	三三・七%	三六・九%

第二章 稻作概況、作付面積及收穫高

(一) 稻作概況

本島ノ稻作ハ氣温ヲ利用シ一年二回植付ス第一回ハ小寒ヨリ立春ノ候種子ヲ播下シ小暑ノ頃ニ收穫シ第二
 回ハ第一回收穫ニ先立ツコト三十餘日前種子ヲ播下シ小寒ノ頃收穫ニ臺灣語ニテ前者ヲ早米後者ヲ晚米ト呼
 フ之レ本島産出米ヲ第一期第二期ニ區別スル所以ナリ又別ニ澁米ト稱スル作法アリ大寒前後早晚兩種ヲ混シ
 テ一苗代ニ播下シ同一田ニ移植シ先ツ一期米ヲ收穫スレハ晚種ハ漸次成育シ第二期米成熟期ニ至リテ成熟ス
 一稼二穫ノ方法ニシテ植付一回ニシテ勤勞ヲ省略シ得ルノ利アリ廣キ面ヲ耕作シ努力ニ不足ヲ訴フル場合至
 便ノ方法ナレトモ收穫上ノ損益果シテ如何未タ精確ナル調査ヲ得ス

稻田整理作業ハ苗代本田共内地ノ其レト大差ナク施肥ハ苗代ニ多量ヲ施シ本田ニ非薄ナリ然モ本田ニハ施
 肥セサルモノ少ナカリシカ近來内地種ノ發達ニ刺戟セラレ豆粕、其ノ他ノ肥料ヲ購入スル者次第ニ増加シ綠
 肥ハ一層好成績ヲ示スニ至レリ除草ハ概ネ二回ヲ普通トス之レ施肥薄キカ故ニ雜草少シト雖モ努力ノ不足モ
 亦其ノ一因ナラン

本島ニ於ケル土性ハ既ニ述ヘタル如ク一般ニ強粘ナルモ一家五人ノ農家ニシテ良ク二甲以上ノ面積ヲ耕作シ
 然モ繁困ノ差ナキモ困憊ヲ感セス實ニ努力ノ民ト謂フヘシ左ニ作付ニ關スル諸表ヲ掲ク

在來種ヲ肥沃ノ地ニ栽培スルニ於テハ徒長シ結實前倒臥シ收量ヲ減スルコトアルモ内地種ハ斯ル土地ヲ適地トスルモノナレハ之カ栽培ニハ上田ヲ選フカ然ラサレハ多量ノ肥料ヲ施ス要アリ更ニ本田移植ニ際シ然苗ヲ用フレハ植付後間モナク出穂ヲ始メ然モ草丈ケ短ク不揃ヒヲ來シ不結果ニ終ルモノナレハ本種ニ對シテハ苗代期間ヲ短縮シ若苗ヲ用ヒ本田日數ヲ長クスルコトヲ以テ栽培上ノ秘訣トス

次ニ本種ハ生育早キ爲メ分蘖日數少ナク動モスレハ株張充分ナラスシテ收量ニ影響ヲ來スコトアレハ植付株間距離ヲ狭クシ一株ノ植付本數ヲモ多クシ密植スルヲ肝要トス以上述ヘタル點ハ内地種栽培上ノ三大要項ニシテ是等ノ項目ニ付キ遺憾ナク行ハルレハ之カ栽培ニ成功スルモノニシテ一般農家ニ於テ實行セラルルニ至ラハ更ニ面目ヲ一新スルモノアラン

水稻及陸稻作付面積 (大正十四年)

州縣別	期別	水		陸		計
		作田期	作田期	作田期	作田期	
新	一期	4,366	1,000	1,000	1,000	6,366
	二期	3,688	1,275	1,000	1,000	5,963
北	一期	4,366	1,000	1,000	1,000	6,366
	二期	3,688	1,275	1,000	1,000	5,963
竹	一期	4,366	1,000	1,000	1,000	6,366
	二期	3,688	1,275	1,000	1,000	5,963
計		12,108	2,550	4,000	4,000	22,658

州縣別	期別	水		陸		計
		作田期	作田期	作田期	作田期	
中	一期	4,366	1,000	1,000	1,000	6,366
	二期	3,688	1,275	1,000	1,000	5,963
南	一期	4,366	1,000	1,000	1,000	6,366
	二期	3,688	1,275	1,000	1,000	5,963
雄	一期	4,366	1,000	1,000	1,000	6,366
	二期	3,688	1,275	1,000	1,000	5,963
東	一期	4,366	1,000	1,000	1,000	6,366
	二期	3,688	1,275	1,000	1,000	5,963
花	一期	4,366	1,000	1,000	1,000	6,366
	二期	3,688	1,275	1,000	1,000	5,963
計	一期	12,108	2,550	4,000	4,000	22,658
	二期	10,000	2,000	3,000	3,000	15,000
合	計	22,108	4,550	7,000	7,000	33,658

陸稻作付面積累年表

年次	期別	作付面積	指數	收穫高	指數	一甲當收穫高
明治三十五年	第二期	九六八〇	100	四九七〇	100	二八〇
同	第一期	六三三〇	66	六九七〇	140	二八〇
同	計	一六〇一〇	166	一〇九七〇	110	二八〇
大正四年	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	計	二〇八〇〇	214	二一九七〇	120	二八〇
同	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	計	二〇八〇〇	214	二一九七〇	120	二八〇
同	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	計	二〇八〇〇	214	二一九七〇	120	二八〇
同	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	計	二〇八〇〇	214	二一九七〇	120	二八〇
同	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	計	二〇八〇〇	214	二一九七〇	120	二八〇
同	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	110	二八〇
同	計	二〇八〇〇	214	二一九七〇	120	二八〇

水稻及陸稻累年收穫高

年次	期別	作付面積	指數	收穫高	指數	一甲當收穫高
明治三十五年	第二期	九六八〇	100	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第一期	六三三〇	66	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	計	一六〇一〇	166	一〇九七〇	100	一〇九七〇
大正四年	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	計	二〇八〇〇	214	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	計	二〇八〇〇	214	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	計	二〇八〇〇	214	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	計	二〇八〇〇	214	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	計	二〇八〇〇	214	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	計	二〇八〇〇	214	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第二期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	第一期	一〇四〇〇	107	一〇九七〇	100	一〇九七〇
同	計	二〇八〇〇	214	一〇九七〇	100	一〇九七〇

第三章 稻ノ種類

二二

本島ノ初メテ世ニ知ラレタルハ支那隋代ノ時ニシテ此ノ時土蕃各地ニ棲息シ稻ヲ作り飯ヲ炊キ酒ヲ醸スコトヲ知レリト云フ土蕃ノ祖先ハ何地ヨリ來リシヤ明カナラサレトモ人種馬來ニ屬シ一時南洋ニ往來セシコトアリト傳フルニ考フレハ南洋島民本島ニ漂着セシ當時食料トシテ船底ニ殘留セシ少許ノ粃偶々原種トナリシニハアラサルカ而シテ本島ニ於ケル在來種ノ數ハ甚タ夥多ニシテ枚舉ニ遑アラサル如クナレトモ概シテ粒形長大ナルモノ多シ

抑モ米種改良事業著手當時ノ稻ノ品種ハ全局ヲ通スレハ一千六百有餘種ノ多キヲ見ルモ大部分ハ本島人ノ祖先カ其ノ本國ヨリ移住ノ際齊ス所ニ係ルハルヤ疑ヒナシ本島ニ於ケル住民ハ蘭人生蕃ヲ逐フテ赤崁城ヲ臺南ニ築キシ頃ヨリ漸次暹ヲ接シ鄭成功蘭人ヲ伐テ泉漳二州ノ民ヲ招致セシ時ヲ以テ最モ盛ナリトス品種ノ増殖亦此頃ニアランカ一千六百有餘種ノ品種中ニハ同種異稱ノモノ或ハ南北氣候ヲ同ウセサルニ原因シテ一種多種ニ岐レ各地稱呼ヲ別ニセシモノ尠カラス而シテ品種ノ雜多ナルハ移出上大ニ不利ナレハ之ヲ淘汰シテ品種ヲ限定スルコト必要ナルノ議アリ曩ニ米種改良ノ事業起リ赤米除却ト共ニ品種ノ選擇ヲ行ヒ來リシ結果現在品種數二百七十七種ニナリ品質モ亦向上シ改良品種ノ市場ニ實現ヲ見ルニ至レリ蓋シ斯業ノ福音ト謂フヘシ左ニ在來種ノ重ナル品種ヲ列舉シテ參考トナスヘシ

臺北州

第一期 低脚花螺、高脚花螺、短廣花螺、下脚柳州高脚柳州、尾張、大鳥殼、小鳥殼、竹絲朮、白朮、芒花朮

第二期 白殼、下縣、大格仔、小格仔、清流、青稿岸、菊仔、岸仔、白米金縷、赤殼朮、鷓卵朮

新竹州

第一期 紅脚烏粘、火燒烏粘、正烏粘、高脚烏粘、下脚烏粘、正清油、白殼花螺、短廣花螺、白米粉、芒花朮、白殼朮

第二期 清油、大葉糰、細葉糰、霜降早、蕃仔、青果粘、高脚格仔、白殼朮、鷓卵朮

臺中州

第一期 烏殼、低脚烏殼、大花、低脚花螺、高脚花螺、大鳥早種、白米粉、柳州、半天仔、白殼糰、烏尖、員粒、烏殼清油、芒花朮、紀脚朮、竹絲朮

第二期 青稿、黃稿、三杯、烏咬、清流、蕊仔、天須早、烏殼格仔、岸仔、萬新、烏鼠牙朮、鷓卵朮、烏殼朮、反鹽朮

臺南州

第一期 白脚清油、紅脚清油、白殼清流、清流、打鐵崙、高脚烏粘、烏粘、烏殼、赤殼、紅脚朮、芒花朮

第二期 白殼天來、烏殼晚、白殼晚、岸仔、青稿、朮仔變、花殼、白朮、店葉朮、南路朮、鷓卵朮

高雄州

第一期 白殼清油、烏殼清油、虎皮花、白葉

第二期 蟻公包、菁菓占、大朮變、朮變、水柳烏占

二三

内地種米

二四

本島ニ於ケル内地種水稻ノ試作ハ明治二十九年臺灣總督府創設ノ當時元殖産部ニ於テ現總務長官々邸前ノ水田ニ栽培セルヲ以テ嚆矢トス其ノ後臺北農事試驗場ニ於テ之ヲ試作シ明治三十六年同場廢止セラレ臺灣總督府農事試驗場創立セラルルト同時ニ本試驗モ亦繼承セラレ爾來十餘年ヲ經テ大正十年ニ至リ島内研究機關統一ノ爲メ臺灣總督府中央研究所官制公布セラルルニ及ヒ同場ノ事業ハ其ノ一切ヲ舉ケテ農業部ニ於テ繼承セラレタルヲ以テ從テ本試驗モ亦引續キ之ヲ施行シ以テ今日ニ至ルモノナリ而シテ當初試驗ニ供シタル品種數ハ僅ニ十五種ニ過キサリシカ爾來漸次内地ニ於ケル著名ナル品種ヲ取寄セ現在ニ於テハ實ニ百七十餘種ノ多キヲ數フルニ至レリ

多年ノ試驗成績ニ依リ臺灣殊ニ北部地方ニ於ケル内地種ノ栽培ハ極メテ有利ニシテ本島ニ於ケル米作改良上甚タ重要ナル問題タルコトヲ確認セラレタリ茲ニ於テ舊各廳農會ノ希望ニ依リ更ニ全島各地ニ於ケル之カ栽培ノ適否ヲ確知センカ爲メ内地種中最モ優良ナル成績ヲ收メタル五品種ヲ選定シ明治四十五年第一期ヨリ舊各廳農會ニ其ノ試作ヲ依頼セリ而シテ之カ成績ハ概シテ良好ト稱スルコト能ハサリシモ獨リ臺北廳下ニ於ケルモノハ其ノ成績甚タ良好ニシテ且ツ經濟的ニ頗ル有利ナルコトヲ示セリ是レ北部臺灣ノ氣候カ他地方ニ比シ内地種栽培ニ好適セル爲メナルヘシト雖モ又臺北附近ニ於テハ從來農會ノ指導ニ依リ多少ノ試作行ハレ内地種耕種法ニ關シ幾分ノ經驗ヲ有スル農家ヲ生セシコトモ亦其ノ一因タルヘシ其ノ後種子ノ配布ヲ希望

スルモノ續出シ内地種ノ栽培ハ日ヲ追フテ盛況ヲ呈スルニ至レリ

内地種米ハ從來生産額僅少ナリシ爲メ内地へ移出スルニ至ラサリシモ大正十一年生産米ヨリ初メテ之カ移出ヲ見ルニ至レリ然ルニ之カ内地ニ於ケル廉價頗ル良好ニシテ著シク需要ヲ増加シタル結果大正十二年ニ於ケル内地種米栽培面積ハ一躍二千五百甲ニ達セントシ從來臺北州下ニ限ラレタル栽培モ漸次擴大セラレ新竹臺中兩管内ニ及ヒ更ニ高雄州管内ニモ試作ヲナスモノアルニ至レリ而シテ新竹臺中兩州下ニ於ケル農會ノ試作成績ハ良好ニシテ又中北部地方ニ於テハ内地種カ第一期作トシテ好適ナルノミナラス耕種法其ノ宜キヲ得レハ第二期作トシテモ相當成績ヲ舉ケ得ルニ難カラサルコトヲ示スニ至レリ而シテ現在各地ニ栽培セラルル品種ハ中村種ナリ

第四章 米穀検査

一、沿革 臺灣ニ於ケル米穀検査事務ハ明治三十六年臺中廳ニ於テ廳令ノ下ニ米商組合規則ヲ發布シ管下米穀當業者ヲシテ組合ヲ組織セシメ其ノ管外搬出米ニ對シ検査ヲ施行シタルヲ嚆矢トシ翌三十七年ニ至リ督府ハ島内ニ於ケル産米及取引ノ狀況ヲ調査シ検査所設置ノ必要ナルヲ察シ同年七月府令ヲ以テ内地移出米検査規則ヲ發布スルト共ニ先ツ基隆及臺北ニ検査所ヲ設ケ次テ翌年六月更ニ安平及高雄ノ兩港ニ検査所ヲ増設シ全島ヨリ移出スル米穀ニ對シ沿ネテ検査ヲ施行スルニ至レリ

二五

大正十四年搬出米種別表

所別	種別	長		丸		內		合		長		丸		合		總	
		支	白	支	白	支	白	支	白	支	白	支	白	支	白	支	白
豐	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
新	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
基	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
頭	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
宜	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
羅	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
清	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
桃	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
楊	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
新	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
苗	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
苑	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
中	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
豐	北	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

二九

檢查所別	成		續		外		計
	一	二	三	等	等	不	
中	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
電	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
甲	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
鹿	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
港	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
化	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
林	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
南	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
義	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
六	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
雄	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
山	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
山	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
東	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
州	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
港	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
計	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

二八

大正十四年搬出米檢查月別 (單位袋)

所別	月別												
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
草屯	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
大甲	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
沙鹿	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
鹿港	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
彰化	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
員林	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
嘉南	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
斗六	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
西螺	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
高雄	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
鳳山	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
屏東	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
潮州	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
東山	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
合計	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000

所別	月別												
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
草屯	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
大甲	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
沙鹿	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
鹿港	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
彰化	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
員林	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
嘉南	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
斗六	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
西螺	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
高雄	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
鳳山	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
屏東	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
潮州	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
東山	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000
合計	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000

檢査所別	年別													
	大正五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	平均			
臺中	101,300	101,300	101,300	101,300	101,300	101,300	101,300	101,300	101,300	101,300	101,300			
草屯	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
烏日	101,000	101,000	101,000	101,000	101,000	101,000	101,000	101,000	101,000	101,000	101,000			
大肚	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
大安	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
大甲	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
沙鹿	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
鹿港	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
彰化	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
員林	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
斗六	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
西螺	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
嘉義	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
臺南	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
安平	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
高雄	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
鳳山	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			

三五

合 計	旗 山				東 港				潮 州				東 港			
	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000

搬出米檢査成績等級別累年對照表 (單位袋)

年 次	一 等				二 等				三 等				外 等				不 合 格	計
	大正五年	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		
同六年	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		
同七年	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		
同八年	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		
同九年	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		
同十年	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		
同十一年	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		
同十二年	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		
同十三年	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		
同十四年	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		
平均	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		

三五

年次	一等	二等	三等	等外	不合格	補正	計
同十四年	三三	七三〇六四	三九三八四	二四三三	五三六		四八七五
十箇年平均	二六九	六四九	二二五六七	七三三	六八四		二四八二八

備考 等外ハ十三年度ヨリ之ヲ始ム

大正十四年移出検査成績 (單位袋)

検査所別	成績別			合計	等外	不合格	補正	碎米
	一等	二等	三等					
基隆検査所	一	三三	二四八〇九	二七四四三	一六〇三	一六	二〇〇	八
高雄検査所	一	八三	九四一七五	九四九七	二八〇	三六	三三六	一
合計	二	一一六	二四二〇四	二七四四〇	一八九四	五二	五三六	九
千分率	〇	〇三	九六六	一〇〇〇				

大正十四年移出検査成績月別比較表 (單位袋)

月別	成績											合計	等外	不合格	補正	碎米
	一等	二等	三等	合計	等外	不合格	補正	碎米								
一月			三三	三三〇三	六九	三三	九六	四	四	四						
二月			一八	一八三三	二九	一八	二九	一	一	一						
三月			二五	二五〇七	四〇	二五	四〇	一	一	一						
四月			二二	二二〇二	三六	二二	三六	一	一	一						
五月			二七	二七〇七	四二	二七	四二	一	一	一						
六月			二九	二九〇九	四四	二九	四四	一	一	一						
七月			三三	三三〇三	五〇	三三	五〇	一	一	一						
八月			三六	三六〇六	五三	三六	五三	一	一	一						
九月			三〇	三〇〇〇	四六	三〇	四六	一	一	一						
十月			二五	二五〇五	三九	二五	三九	一	一	一						
十一月			二二	二二〇二	三六	二二	三六	一	一	一						
合計			二二六	二二六〇六	三三六	二二六	三三六	一〇	一〇	一〇						

大正十四年移出米検査種別表 (單位袋)

檢查所別	基隆檢查所			高雄檢查所			合計
	計	白	支	計	白	支	
合計	計	白	支	計	白	支	合計
基隆檢查所	計	白	支	計	白	支	合計
高雄檢查所	計	白	支	計	白	支	合計

大正十四年移出米檢查部期別表 (單位袋)

檢查所別	基隆檢查所			高雄檢查所			合計
	計	白	支	計	白	支	
合計	計	白	支	計	白	支	合計
基隆檢查所	計	白	支	計	白	支	合計
高雄檢查所	計	白	支	計	白	支	合計

大正十四年移出米仕出港及仕向地 (單位袋)

仕向地	仕出港		合計
	基隆檢查所	高雄檢查所	
	計	計	
神戶	八三一,三七四	一七九,三四五	一,〇一〇,七一九
東京	五〇七,九三七	二九二,五三〇	八〇〇,四六七
門司	三三四,四八四	七六,七一九	四一一,二〇三
大阪	二八三,五二五	一〇一,九三四	三八五,四五九
橫濱	三〇四,二五四	一四,九四一	三一九,一九五
長崎	一一〇,五〇〇	五三,七四四	一七四,二四四
小倉	六三,六六八	四九,三二六	一一二,九九四
下關	二二,六〇〇	四九,〇八一	七一,六八一
鹿島	六〇,六九三	五,七一四	六六,四〇七
尾道	一七,五七四	四二,七六四	六〇,三三八
宇品	三六,一八二	一九,一八三	五五,三六五
釜山	四五,二三〇	一八,四〇〇	四五,二三〇
三浦	二二,二五六	一八,四〇〇	四〇,六五六
釜山	二二,二六三	二七,九七五	三〇,二三八
吉浦	二〇,〇六〇		二〇,〇六〇

商號	氏名	受檢數	商號	氏名	受檢數
瑞泰	許太山	一、八九〇、〇四六	岩崎商業會社	竹內皮夫	八、三三二
三井	津久井誠一	三四一、五〇七	岩崎商業會社	岩崎商業會社	六、五二八
方協	方玉	三二四、〇五〇	岩崎商業會社	岩崎商業會社	六、三〇三
和豐	吳澄	二九七、六一二	岩崎商業會社	岩崎商業會社	六、二四五
智記	玉聲	一六五、八二六	岩崎商業會社	岩崎商業會社	六、〇一八
金發	劉金	一三七、五七二	岩崎商業會社	岩崎商業會社	五、七九八
高發	高文	一三二、六七五	岩崎商業會社	岩崎商業會社	五、六四〇
振發	吳永	七八、七三六	岩崎商業會社	岩崎商業會社	四、三九一
泉和	劉亭	七八、四九四	岩崎商業會社	岩崎商業會社	四、一三二
周興	周油	五七、三四六	岩崎商業會社	岩崎商業會社	四、一三三
大豐	林熊	三八、八九八	岩崎商業會社	岩崎商業會社	三、八六一
瑞昌	張培	三二、九〇四	岩崎商業會社	岩崎商業會社	三、八三六
	吳建	二七、五二二	岩崎商業會社	岩崎商業會社	二、二四八
	桃園	一五、三〇四	岩崎商業會社	岩崎商業會社	二、〇九九
	彩化	一二、四一七	岩崎商業會社	岩崎商業會社	一、六九三
	中農	九、八一六	岩崎商業會社	岩崎商業會社	一、六七七

大正十四年移出米檢查受檢者表 (單位袋)

四一

仕向地	檢查所	
	基隆港	高雄港
計	二、七四六、四三三	九四六、九九七
武豐	六、〇〇〇	一一、一七〇
那翻	一六、四四七	
仁川	一四、八〇九	五〇〇
青森	一四、〇〇〇	
濱水	五、六五八	
高濱	四、八三五	
八知	三、三三〇	五〇〇
郡山	三、〇五一	
木浦	二、三〇〇	
牛田	一、二九二	
宮古	一、二二一	一、四八一
馬山	七八六	
四市	九二	四九〇
西表	一二	
京都		
合計	三、六九三、四三〇	

四〇



商號	氏名	受檢數	商號	氏名	受檢數
大益	安部商店	一、五〇〇	瑞興	阿年	三七三
小野原商店	小野原商店	一、一〇〇	林金	王港	二〇八
李鵬儀	李鵬儀	八四九	日東商船組	日東商船組	一〇〇
臺灣農倉販賣所	臺灣農倉販賣所	五五〇	合	計	三、七一九、九一一
明比	明比	四三五			

移出米検査等級別累年比較表 (單位錢)

年次	等			外	不合格	合計
	一	二	三			
大正七年	一、〇三三、六一三、九七三	三、三九六、六四八、八八七	一、七五七、〇八一、六〇五	一、六三三、三三二	一、六三三、三三二	一、六三三、三三二
八年	一、七五七、〇八一、六〇五	八、一四六、六一〇、三二九	三、九四六、一〇三、一〇二	一、七、三三一	一、七、三三一	一、〇〇、五九三
九年	三、三九六、六四八、八八七	三、七三四、九六四、六三一	一、五三七、二八七、四六三	一、五、二三〇	一、五、二三〇	一、六三三、七〇五
十年	一、七五七、〇八一、六〇五	一、五三七、二八七、四六三	一、五三七、二八七、四六三	一、二、六四四	一、二、六四四	一、一三、三〇二
十一年	一、五三七、二八七、四六三	一、五三七、二八七、四六三	一、五三七、二八七、四六三	一、八、九一四	一、八、九一四	一、九七一、六八四
十二年	一、五三七、二八七、四六三	一、五三七、二八七、四六三	一、五三七、二八七、四六三	二、二五二	二、二五二	一、八八八、三三七
十三年	一、五三七、二八七、四六三	一、五三七、二八七、四六三	一、五三七、二八七、四六三	二、二五二	二、二五二	二、八八八、三三七
十四年	一、五三七、二八七、四六三	一、五三七、二八七、四六三	一、五三七、二八七、四六三	二、二五二	二、二五二	三、七一九、九一一

備考 等外ハ十三年度ヨリ始ム

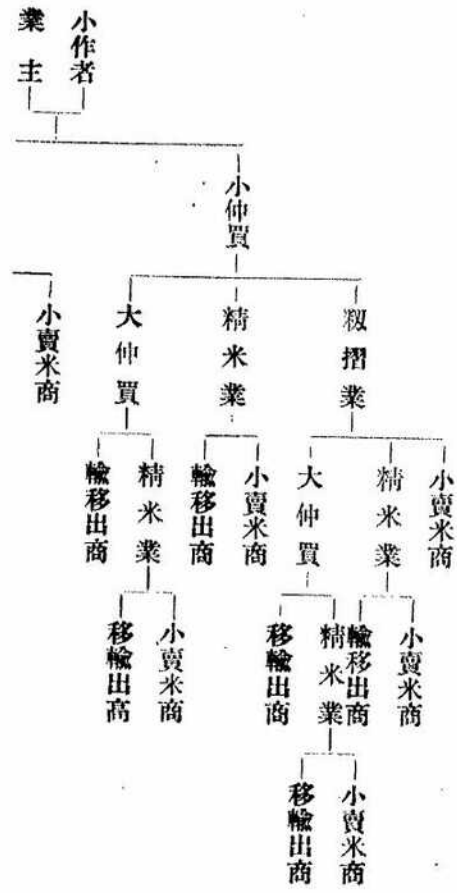
第五章 米穀ノ取引狀況

臺灣米ハ種類ニ依リ内地種米、長粒種米、丸粒種米、丸糯米、長糯米ノ五大名柄ニ大別セラレ内地種米ハ現在員林以北ノ地ニ栽培セラレ長粒種米ハ全島到ル所ニ見サルナキモ概シテ南部地方ニ多ク丸糯米及丸粒種米ハ臺北並ニ新竹ノ二州下ヲ主産地トシ長糯米ハ員林斗六地方ニ主トシテ栽培セラル

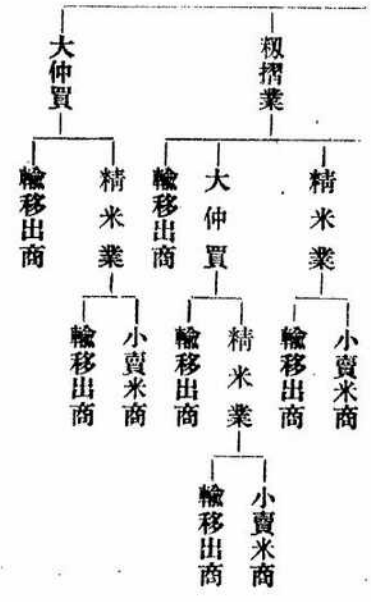
而シテ本島ニ於ケル農家ハ舊來ノ慣習トシテ多ク穀ヲ以テ貯藏シ賣買約定ノ成立スルニ從ヒ穀ノ儘仲買若クハ糶摺業者ニ賣渡ス者最モ多ク農家自ラ脱穀シテ賣却スル者極メテ稀ナレハ農家ニ於テハ一定式ノ包裝ヲナシ受檢スルコトナシテ糶摺業者ノ手ニ移リタル穀ハ機械ニ依リ脱皮セラレ移出米ニアリテハ移出検査合格ヲ條件トシ移出商ニ賣却セラレ島内消費米ニアリテハ各々規定ノ検査ヲ受ケ小賣商又ハ精米業者ニ賣渡サルモノナリ賣買約定ハ本島人間ニハ古來幾多ノ慣習アレトモ概シテ現物賣買、延賣買、依託賣買ノ三種ニシテ現物賣買ハ穀ノ現物取引ニシテ賣買價格及數量ヲ定メ賣買契約成立ト同時ニ又ハ三日乃至五日以内ニ現金ニテ受渡シテ行ヒ終結シ延賣買ハ一箇月乃至三箇月ノ先物ヲ賣買スルモノニシテ先ツ數量、値段ヲ定メ有期間ノ範圍以内ニ於テ現米ノ受渡シヲナスノ方ナリ此ノ場合ニ於テハ多ク買方ヨリ前貸金ヲ交付スルヲ慣例トス前貸金ノ率ハ幣一袋(正味百五十斤入)ニ對シ四圓乃至五圓ヲ投シタルコトアレトモ現今ニ於テハ之ヲ一圓ニ制限セリ依託賣買ハ本島人間ニ於テ依時行情ト稱シ先ツ若干ノ米ヲ或ル期間内ニ提供スルコトヲ約シ豫メ

値段ヲ定メスシテ前貸金ノ交付ヲ受ケ其ノ期間内ハ前貸金ニ對スル利子ヲ支拂ヒ兩者ノ欲スル値段ノ一致シタル際決済スルノ方法ナリ

然シテ現今當業者間ニ於テ多ク行ハレツツアルモノハ所謂延賣買ノ方法ニシテ仲買若クハ糶摺業者ハ收穫ノ前後ニ於テ移出商ト契約ヲナシ其ノ際前貸金ノ交付ヲ受ケ更ニ小仲買又ハ農家ニ手金ヲ投シテ買付ヲ約シ期限ニ至リテ現物ノ引渡ヲ通例トス其ノ間擔保ヲ供スルコト稀レニシテ概シテ信用取引ナルヲ以テ頗ル危險アルヲ免レス是レ移出商カ前貸金ヲ制限シタル所以ナリ今前記各商間ニ於ケル取引經路ヲ圖解スレハ左ノ如シ



(一) 糶摺業



本島ニ於ケル糶摺業ハ臺灣語ニテ土語間ト稱シ斯業ノ初期ニ於テハ何レモ在來ノ土臼ヲ用ヒ人力ヲ以テ糶摺シタルヲ以テ規模甚タ小ナリシカ中頃牛畜ノ役力ヲ利用スルモノ起リテ稍々進歩シ來リ漸次産米ノ増殖ト大量取引ノ行ハルルニ連レ糶摺業モ自然工場能力ノ擴大ヲ競フノ風ヲ生シ今ヤ進ミテ蒸氣電力若クハ石油發動機ノ類ヲ用ヒ機械ノ如キモ米國製「エンゲルバルグ」式糶摺機ヲ裝置シ小ハ三乃至四馬力ヨリ大ハ十乃至十三馬力ノモノヲ用ヒ専ラ人工ノ費ヲ節約スルト同時ニ大量ヲ迅速ニ然モ經濟的方法ニ依ルノ傾向ニ推移シ今日ニ於テハ全島各地ニ之カ普及ヲ見ルニ至レリ

商號	陳金記	住	字公館口二五	所	陳金水	商號	源記	住	七星都北投庄石牌六〇〇	所	劉火石
商號	永成	住	字米市七	所	陳啓明	商號	合興	住	北投五一	所	賴高塔
商號	振隆	住	字米市七	所	楊厚王	商號	同勝	住	七二	所	陳金水
商號	益隆	住	字協興三〇	所	陳居生	商號	同玉	住	石牌	所	魏金梯
商號	金晉	住	字協興三〇	所	李金生	合計	同	住		所	八十四名

新莊米穀檢查所管轄內

商號	永興隆	住	新莊新莊街新莊字新莊七三八	所	陳平道	商號	得豐	住	新莊街新莊三三三	所	蔡加走
商號	年豐公司	住	同山脚字大窠口一五七	所	李國祥	商號	林達	住	新莊三五八	所	林深遠
商號	協和	住	同新莊街和尙州中路一二二	所	李惟德	商號	同	住	新莊街新莊字新莊七三三	所	王學顯
商號	金振	住	同新莊街字新莊三五二	所	吳唐山	合計	同	住		所	八名
商號	儉益	住	同和尙州中路二二六	所	李開健						

爲歌米穀檢查所管轄內

商號	德和公司	住	海山郡爲歌庄士爲歌九六	所	鄭榮乞	商號	順成	住	七七	所	王有珍
商號	合興	住	字尖山埔一〇	所	陳榮珍	商號	豐年	住	二二四	所	周未枝
商號	豐隆	住	字爲歌一九一	所	沈銀論	商號	同	住	三峽庄字公館後一二五	所	黃文城
商號	源興	住	字三塊厝一二七	所	余海	商號	同	住	字三峽二九	所	林金龍
商號	德發	住	字石頭溪九	所	王亦	商號	同	住	字公館尾三六	所	泰石
商號	成春	住	字石灰坑一九	所	許阿春	商號	同	住	字三峽五八	所	王金
商號	勝興	住	字石灰坑一九	所	周金發	商號	同	住	字公館後一七	所	王金
商號	文和	住	七七	所	王文換	合計	同	住		所	十八名

基隆米穀檢查所管轄內

商號	泰源	住	基隆市石牌三〇	所	何貴芳	商號	新源發	住	新興町三三	所	黃源勳
商號	東發	住	草店尾五	所	鄭東海	合計	同	住		所	三名

羅東米穀檢查所管轄內

商號	住	所	氏名	商號	住	所	氏名
	同	羅東郡羅東街	王林修		同		張新信
	同		俞石頭		同	五結庄二結	林新信
	同		陳傳枝		同	冬山庄冬山	張連祥
	同		林開珍	合計			八名
	同		廖阿三				

五〇

頭圍米穀檢查所管轄內

商號	住	所	氏名	商號	住	所	氏名
林益記	宜蘭郡頭圍庄字頭圍三〇		林和	顏瑞興	同		顏瑞
楊成記	同	二六九	楊旺樹	周德成	同		周俊助
春記	同	一五七	陳合春	共益公司	同	囉漢庄六結三九	李盛周
源發	同	一三三	黃順成	同	同	壯圍庄新發一	
豐發	同	一三二	林新枝	合計			八名

宜蘭米穀檢查所管轄內

商號	住	所	氏名	商號	住	所	氏名
金益發	宜蘭郡宜蘭街宜蘭字乾門六三		陳阿呆	產業會社	同		黃再壽

二九七ノ一

聯豐商行	同	字坤門一六五	黃北	新協發	同	員山庄字珍仔滿力二四四	陳協照
美順	同	一六二	余水土	同	同	宜蘭街宜蘭字坤門一四七	陳映生
新泰	同	字乾門二二八	邱佳重	同	同	壯一一二九	陳金石
德合	同	三三	鍾阿宗	合計			十名
五成	同	囉漢庄一結二八九	呂新煌				

清水米穀檢查所管轄內

商號	住	所	氏名	商號	住	所	氏名
新合興公司	羅東郡五結庄頂五結		許水泉	德興製米工場	同	利澤蘭	陳條旺
吳振	同		吳查某	成興公司	同	成興	林振隆
盈豐公司	同	頂清水	林松江	合計			五名

新竹州支部

桃園米穀檢查所管轄內

商號	住	所	氏名	商號	住	所	氏名
新福祭	桃園郡桃園街武陵		劉金火	義和興	同	六〇	陳德羊

五一

恒源商行	新竹郡新竹街新竹字北門三七	林見舜	勝豐	同	粵林庄粵林六七	劉阿房
瑞茂商行	三一〇一	洪丙臨	新錦興	同	新竹郡新竹街新竹字東門一〇六	李來源
新源商行	四四	代義者鄭邦發	許富記	同	新竹郡新竹街新竹字東門一〇六	許成發
豐茂公司	一四三	林永	晉豐製米所	同	竹東郡粵麻庄粵麻三八	許阿來
新豐茂商行	字北門外二七二	羅百祿	金協成	同	竹東郡粵麻庄粵麻三九	林阿海
錦和	字東門一二二	蔡水樹	老合興	同	竹東庄竹東一六九	彭東海
振和	舊港庄新莊二四三	吳東會	同利商店	同	新竹郡六家庄芒頭埔字麻園七	劉阿梅
合利精米	豆子埔一〇六	鄭東會	榮和製米所	同	舊港庄番子坡二三六	曾榮泉
捷成	二九三〇一	魏海水	安利	同	新竹街北門一七一	陳俊元
金和	竹東郡竹東庄竹東二五二	顧石養	豐利	同	同	吳日立
金和		彭石養	合計	同		二十二名

苗栗米穀檢查所管轄內

義和	苗栗郡苗栗街	沈德信	廣生	同		黃文且
榮和		郭阿雲	廣茂	同		周阿壽
雲和		郭阿文	廣順	同		林阿桐
振源		郭阿文	合計	同		九名

苑裡米穀檢查所管轄內

聯興	苗栗郡苑裡庄	郭大經	茂春	同	通霄庄	邱胡源
協源		謝希坤	盛同	同	苑裡庄	蔡胡源
泉源		魏希稱	合計	同		六名
永興		周懷恭				

臺中州支部

臺中米穀檢查所管轄內

協豐	臺中二〇八	吳子瑜	泉益記支店	同	同二三〇	張阿本
順成	臺中市頂橋子歐九五	林萬國	隆益	同	同五二二	江樹根
復成	臺中二四四	林水秀	和益	同	臺中市下橋子頭	李樹松
泉成	同四二四	張朝松	元益	同	臺中二	曾臨
德成	同二〇七	江水木	復源	同	臺中市公館一八八	溫金
源成	同二三〇	吳派丁	吳惟成	同	臺中二	吳惟
合計						五五

商號	住	氏名	商號	住	氏名
金益興	臺中五一八	李朝燕	勝和	同 一四四三	歐深
協源	同 一七三	廖朝泉	益記	同 六四四	張阿國
合興	同 八二八	林如灶	成記	臺中市頂橋子頭五七	張火生
慶興	同 一、四三七	何霖坤	成味店	臺中六四九	賴松震
復興	同 六四五	林朝坤	合勝	大屯郡萬斗六四四二	莊大波
日興	同 六五二	賴朝坤	合勝	同 霧峰一四九	林景清
林益	同 一、二四八	林朝坤	合勝	王田	林水養
謙隆	臺中市早溪二八〇	何朝坤	合勝	臺中六四五	張木
豐順	臺中一七二	何朝坤	合勝	大屯郡霧峰	李先水
金和	臺中市牛厝一二七	楊金生	合勝	烏日	林萬
金生	臺中一二二	林金生	合勝	王田	陳汝文
長記	同 五四三	廖氏阿幼	合勝	同 豐原二七	四十名
金德	同 一、二六五	賴玉燕	合勝		
順和	同 一、四三九	李燕	合勝		

五六

豐原米穀檢查所管轄內

商號	住	氏名	商號	住	氏名
谷精米所	豐原街上桶坑三二三	谷藤與	有限責任豐原米所	同 豐原二七	陳道賢買組合

商號	住	氏名	商號	住	氏名
竹發精米所	上桶坑三三一	莊三榮	益豐	同 大雅庄大雅五二	陳文安
裕益精米所	豐原一九六	陳頭	順得	同 一〇八ノ五	張李丁才
錦豐源	一九〇	林炎	豐源	豐原郡內埔庄中和二五	陳新炎
贈禮精米所	九六、一九ノ一	蔣通	振行	同 后里八一	劉長
通記	五一	陳全	源泰	同 豐原四〇二	劉樹山
金發	一九	劉榮	長發	同 朴子口	
豐昌	七二八	吳瑞源	萬源	同 豐原七三六	
金源	一三三	梁瑞	合計		十九名
深富精米所	翁子四二三	林阿海			
海清	神岡庄大社一五				

草屯米穀檢查所管轄內

商號	住	氏名	商號	住	氏名
同美商會	南投草屯庄草屯二五	鄭謹	林慶記商行	同 南投街南找一三〇	林崧雨
瑞記商行	同 三〇四	李昌期	合計		四名
宏業公司	同 新庄三三六	洪水箕			

大甲米穀檢查所管轄內

五七



商號	聯興南行	玉甘泉	源發	義發	裕興	商號
住	同	同	同	同	同	住
所	水上庄	同	嘉義街	新巷庄	同	所
氏名	黃德謙	張淡	羅寅	周登	洪作澤	氏名
商號	合計	協益	復興	振興	成興	商號
住	同	同	同	同	同	住
所	同	同	同	同	同	所
氏名	十名	張福丈	鄭隆	黃隆	黃隆	氏名

斗六米穀檢查所管轄內

商號	同	吉德	新成	捷興	建興	源豐	源豐	商號
住	同	同	同	同	同	同	同	住
所	同	同	同	同	同	同	同	所
氏名	劉守田	魏昆田	張朝茂	廖茂炎	林泉	劉泉	倪源復	氏名
商號	合計	益記	興成	聯成	捷成	源豐	源豐	商號
住	同	同	同	同	同	同	同	住
所	同	同	同	同	同	同	同	所
氏名	十二名	周登	李興	薛興	郭興	賴興	賴興	氏名

斗六米穀檢查所西螺出張所管轄內

商號	廣合	大興	協成	德昌	全興	商號
住	同	同	同	同	同	住
所	同	同	同	同	同	所
氏名	林進	廖初	林雅	鍾清	林有	氏名
商號	合計	泰豐	聯興	聯興	玉彰	商號
住	同	同	同	同	同	住
所	同	同	同	同	同	所
氏名	八名	林元	林元	廖元	廖元	氏名

高雄州之部

高雄米穀檢查所管轄內

商號	金德和	新隆	震發	新發	鼎發	新發	順發	義成	合發	商號
住	同	同	同	同	同	同	同	同	同	住
所	同	同	同	同	同	同	同	同	同	所
氏名	洪鳥毛	黃滿洋	李直	莊福	蔡米	王定	林松	林松	林松	氏名
商號	許山益	新益	李有	豐和	瑞興	合成	展華	明和	黃泰	商號
住	同	同	同	同	同	同	同	同	同	住
所	同	同	同	同	同	同	同	同	同	所
氏名	許武	林山	林山	黃山	陳山	林山	黃山	莊山	黃山	氏名

聯協興公司	美順興	新順興	振興	川興	協興	利成	聯益	榮捷	捷產	陳中	文臣	源記	協益	瑞芳	億記	商號
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	住
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	所
左營	坤子頭	鹿後	同	左營	鹿後	坤子頭	高雄郡左營庄石沖	同	前鎮	岑雅寮	過田子	同	同	高雄市岑雅寮	楠梓庄楠梓	氏名
李海泉	李新禮	薛禮	曾知	蘇莊	薛莊	鄭莊	林莊	朱莊	朱莊	陳莊	陳莊	陳莊	許莊	高莊	鍾莊	商號
復豐公司	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	住
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	所
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	氏名
李榮	木來	林來	洪來	莊來	陳來	黃來	黃來	洪來	黃來	陳來	楊來	黃來	薛來	同	同	商號
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	住
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	所
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	氏名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	四十九名

鳳山米穀檢查所管轄內

榮成	德記	昭信	榮春	同春	和吉	商號
同	同	同	同	同	同	住
同	同	同	同	同	同	所
火房口八四	新庄子四七	三二九	八九	三五	三五	氏名
張媽意	鍾同	林朝鈞	朱朝鈞	林朝鈞	黃在居	商號
同	同	同	同	同	同	住
同	同	同	同	同	同	所
同	同	同	同	同	同	氏名
同	同	同	同	同	同	十一名

旗山米穀檢查所管轄內

泉源	金長	永昌	順昌	豐原	聯慶	蔡同	源發	豐發	商號
同	同	同	同	同	同	同	同	同	住
同	同	同	同	同	同	同	同	同	所
同	同	同	同	同	同	同	同	同	旗山郡旗山街
劉氏桂花	郭知批	宋阿桂	邱石寶	郭其玉	陳日成	蔡日成	吳萬順	莊萬順	氏名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	商號
同	同	同	同	同	同	同	同	同	住
同	同	同	同	同	同	同	同	同	所
同	同	同	同	同	同	同	同	同	氏名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	十六名

(二) 農業倉庫

イ 設置ノ理由

本島ノ氣候ハ多雨多濕ニシテ産米ノ乾燥不良ナルノミナラス農家ハ穀ノ儲積業者ニ販賣シ糶業者ハ商機ニ走り米乾燥ノ儘粗糶ナル方法ニ於リ調製シ轉賣スルヲ以テ玄米トシテ長期ノ保存貯藏ニ堪ヘスシテ商品價値ヲ失シ墜目減品傷ミニ依ル損失ハ實ニ年産額ノ約一割即チ六十萬石ニ相當シ多大ナル損失ヲ與フルト共ニ米種改良ノ實績ヲ市價ニ求ムルコト能ハス

於茲人工乾燥機糶調製機ヲ完備セル農業倉庫ヲ設置シ共同ノ保管共同ノ販賣及證券發行ニヨル金融ノ途ヲ講シ以テ農家經濟ノ發達ヲ企圖スルト共ニ一面國家トシテ食糧増殖ノ見地ヨリ貯藏中ニ於ケル損耗ヲ防止シ産米需給ノ調節、米價安定ヲ計ルノ機關タラシメンコトヲ期セリ

ロ 設置ノ計畫

島内産米五百萬石中其ノ一半ヲ自家農民ノ消費スルモノトシ二百萬石ハ商品トシテ出廻ルヲ以テ此ノ數量ヲ收容スルニ於テハ倉庫運用ノ效果顯著ナリ依テ當初一倉庫一箇年收容力三萬石ノモノ七十箇所ヲ設置スルノ要アリトシ之カ第一期事業トシテ先ツ其ノ一半三十五箇所ヲ設置獎勵セントシ大正九年度ヨリ五箇年間ニ七箇所宛建設スルノ計畫ヲ樹テタルモ地方制度改正、諸物價騰貴等ノ結果以前ノ計畫ニ變更ヲ生シ大正九年

ニ於テハ桃園、西螺、潮州ニ建設シ大正十年度ニ於テ羅東、新莊、中壠、彰化、員林、臺南、屏東、ノ七箇所ニ設置シ尙ホ大正四年以來別途補助ヲ以テ建設セル臺中農會臺中州糶摺工場ヲ改造シ之ニ認許ヲ與ヘ合計現在十一箇所アリ

本事業經營ノ主體ハ臺北州羅東農業倉庫ノ産業組合ニ於テ經營セルノ外凡テ各州農會ノ經營タリ之カ現況左ノ如シ

倉庫名	認許年月日	開業年月日	一日十時間	一箇年收容力
羅東	十一年十二月二十五日	十二年一月二十四日	一〇〇	三〇,〇〇〇
新莊	十三年十一月八日	十三年十一月八日	二〇〇	四〇,〇〇〇
桃園	十二年七月九日	十二年七月十七日	一〇〇	三〇,〇〇〇
中壠	十四年二月三日	十四年二月三日	二〇〇	四〇,〇〇〇
彰化	十一年八月十五日	十一年十二月二十五日	五〇	一五,〇〇〇
員林	十四年七月四日	十四年七月四日	二〇〇	四〇,〇〇〇
臺南	同	同	二〇〇	四〇,〇〇〇
屏東	十一年十二月二十七日	十二年二月三日	一〇〇	三〇,〇〇〇
潮州	十四年二月三日	十四年五月十七日	一〇〇	三〇,〇〇〇
羅東	十三年十一月二十日	十三年十一月二十日	二〇〇	四〇,〇〇〇
新莊	十一年八月十五日	十一年九月二日	一〇〇	三〇,〇〇〇

カ如クナキカ如クニシテ取引ハ全ク各米商間ニ放任セラレ判定ニ苦シム現状ニアリテ事情斯ノ如キハ一般米穀生産者ニ不利益ナルト共ニ當業者ニ取リテモ商取引ノ範圍勢ヲ限定セラレル感アリ更ニ取引ノ増進及其ノ公正ヲ所期スル上ヨリ茲ニ正米市場設立ノ問題世上ニ宣傳セララルルニ至リ次第ニ討議研究セラレ幾多ノ變遷ヲ經テ遂ニ大正十三年一月臺灣正米市場創立總會ヲ開催シ之カ決議ニ基キ臺灣正米市場組合設立認可ヲ申請スル運ヒニ立到レリ斯クテ同年四月二十三日付ヲ以テ認可セラレ此處ニ多年懸案トセラレタル臺灣正米正場ハ産聲ヲ擧クルコトナレリ

經過

諸般ノ準備ニ、多少ノ時日ヲ費シ愈々大正十三年六月二日開市式ヲ舉行シ爾來每日午前九時ヨリ各組合員及仲立人ハ市場内ニ立會ヒ各自取引ヲナシ日々其ノ公定相場ヲ發表スルト共ニ六月中旬ヨリ神戸市兵庫兵神日報社及神戸米穀肥料市場トノ間ニ相場氣配ニ關スル電報通信ノ交換ヲ開始シ以テ組合員取引ノ便宜ヲ計ル等開市當初ノ成績トシテハ可ナリ良好ナル成績ヲ擧ケタリト雖モ六月下旬ヨリ出場組合員次第ニ減少シ遂ニ全ク其ノ影ヲ潛ムルニ至レリ只茲ニ注意スヘキ事項ハ開市當日ヨリ地方仲買人及土産間ノ參觀者多ク時ニハ二、三十人ノ多數ニ昇リ熱心ニ取引振リヲ觀察スル等正米市場ノ設立ハ地方生産者側ニ取リ如何ニ影響セシカラ實際ニ目撃スルヲ得タリ然レトモ組合員ノ不参加ニ依リ自然ト彼等モ市場ヨリ去リ賣買取引ハ市場外ニ流レ從前ノ如ク各自商店内ノ取引ニ復シ市場ハ公定相場ト大阪、東京、神戸ノ定期米相場及神戸ヨリノ通信

交換ノ發表ノミトナリ六月二十一日後ハ場内取引絶無トナリ早晚市場存立ノ危機ニ類スヘキ状態トナレルノミナラス七月ノ經費支出ノ見込サヘ危フマレルニ至レリ依テ不敢取其ノ應急策トシテ市場維持策ヲ講セサルヘカラサル場合ニ達著セルヲ以テ屢々評議員會ヲ開催シ之カ救濟策ヲ講シタル結果一時的方法トシテ組合員ノ市場外取引ニ對シテハ市場ニ其ノ數量ヲ届出テ手數料ヲ徴收スルコトトナシ兎モ角窮場ヲ助ケ得十三年度ヲ送リ十四年度ニ於テハ前年度ノ剩餘金ヲ以テ率シテ經營ヲ繼續シ來リ今日ニ及ヘリ

組合員名

商	號	氏名	營業所	商	號	氏名	營業所
瑞泰合資會社		許 太山	臺北市泉町二ノ一	東成商行		江 序 慶	港町二ノ二九
岩崎商業株式會社		堀 德治郎	北門町八	米記商行		陳 采 臣	永樂町五ノ一〇五
和豐商行		吳 澄 洪	同	智記商行		王 歸	同 一ノ四九
金德發商行		劉 金 聲	同	合資會社竹田商店臺		竹田鶴之介	表町一ノ三〇
大有物産株式會社		林 熊 祥	同	北支店		顏 仲 篤	大橋町二ノ二〇四
津坂商行		津坂慶次郎	同	同 益 商行		酒井政一郎	榮町四ノ四
方協豐商行		方 玉 燦	同	合資會社賀田組臺北支店		津久井誠一郎	表町一ノ三一
高洲和精米所		高 文 秀	同	三井物産株式會社臺北支店		董 湖	港町三ノ三三
周長興精米所		周 油 定	同	董湖會		陳 大 頭	大橋町一ノ一一
瑞昌興業株式會社		張 建 生	同	東興商店		吳 永 金	港町二ノ二九
株式會社吉野商店		安田治太郎	同	振發商行		王 港	永樂町五ノ三四七
			本町二ノ二三	瑞興商店			

商號	氏名	營業所	商號	氏名	營業所
明比實平商店 株式會社安部幸商店 臺南支店 大水興業株式會社	明比實平 阿部彌兵 林熊徹	同 同 同	同 同 同	同 同 同	同 同 同
株式會社鈴木商店 臺北支店 市川實雄 吉江正	竹内虎雄	同	同	同	同
					北門町七 築地町二ノ三 明石町二ノ六

仲立人名

- 野村定次郎 臺北市港町三ノ一〇
杜 媽 映 同 永樂町五ノ一四五
蔡 家 錦 同 大橋町一ノ一七五
尤 銘 新 同 港町二ノ一

(四) 精米業者

本島ニ於テハ精米ニ對スル需要ハ小額ニシテ各庄住民ハ多ク自家ニ於テ玄米ヲ手搗トナシ食用ニ供スルヲ常トス左レハ需要ノ大部分ハ在住内地人及都人士ノ消費用ニシテ大量ノ糶リタルモノハ内地ニ移出スルニアリ然レトモ時運ノ進ムニ從ヒ増加スルハ疑ヒナキハ事實ニシテ精米業ノ前途ハ又多望ナラストスヘカラス殊ニ本島ノ如キ供給餘力ノ裕ナル米產地ニ於テハ玄米貿易ヲ以テ米穀商ト取引スルハ素ヨリ主タル方法ニ相違

ナキモ精米ヲ以テ直接需要地ニ販路ヲ開拓スルハ又利益ナル方法ノ一タルヲ失ハサルヘシ近來沖繩縣ニ於ケル臺灣米ノ需要盛シニシテ精良ナル白米ヲ供給スルニ於テハ同地ニ輸入セラルル外國米ヲ驅逐スルコト敢テ難キノ業ニアラサルヘシ

今各地精米工場ノ状態ヲ大觀スルニ殆ント動力ハ電力ニシテ石油發動機汽力ヲ利用スルモノ少ク機械ハナシヨナル式ヲ用フ唯々臺中州下ニ至リテハ引水ノ便ニ富ムカ故ニ水車ヲ應用スル者多ク彼ノ豊原地方(舊名葫蘆墩)ハ全島ニテ有名ナル良米ノ產地ニシテ水車精米業ノ起源最モ古ク敢テ規模ノ大ナルモノ觀ルニアラスト雖モ在來式精白法ニ依ル良白米ノ產地タルハ既ニ定評アリ今本島各地ノ主ナル精米工場ヲ掲クレハ次ノ如シ

- 臺北市永樂町四ノ八二 合記精米所
同 同 五ノ二七二 振泰精米所
同 表町一ノ二〇 吉岡商店
同 新起町二ノ四二 劉興元精米所
同 入船町二ノ四六 聚興精米所
同 同 二ノ九二 嘉榮精米所
同 同 四ノ一三 建發精米所

同 瑞穂區
玉里支廳玉里庄

振益精米所
津田精米所

(五) 移出商

商號	住所	氏名	商號	住所	氏名
三井物産株式會社	臺北州臺北市大正町二ノ三五	津久井誠一郎	株式會社吉野屋商店	同	安田治太郎
株式會社安部孝商店	臺北州臺南市大正町二ノ七五	中島貫一	同	臺北市本町二ノ二三	王 港
岩崎商業株式會社	臺北州臺北市北門町八	堀 德治郎	同	基隆市草店尾二〇	陳大頭
和 豐 商 行	同	吳 澄 洪	同	同 媽祖宮口三二	竹內 虎雄
瑞泰合資會社	同	許 太 山	同	臺北清北門町七	林 阿 呆
津 坂 商 行	同	津坂鹿次郎	同	基隆市草店尾二九	周 油 定
金 鐘 發 商 行	同	劉 金 聖	同	臺北市太平町二ノ八五	林 熊 微
高 調 和 精 米 所	同	高 俊 後	同	水樂町一ノ五二	吳 永 金
方 協 豐 商 行	同	方 玉 煥	同	基隆市草店尾二〇	宋 瑞 昌
德 記 號	同	吳 寶 璋	同	新店一〇五ノ三七	黃 金 生
陳中和物産株式會社	同	陳 中 和	同	臺北市太平町一ノ二九	杉 原 佐 一
智 記 商 行	同	王 錦 輝	同	高維州高維市漢町一八五	劉 蘭 亭
合資會社賀田組	同	酒井政一郎	同	臺北州海山郡板橋庄板橋八七	玉 理 三 造
合 益 商 行	同	林 阿 發	同	同基隆市哨船頭一九七ノ三八	

第六章 米穀ノ輸移出入狀態

累年輸移出入

年次	輸 出			輸 入		
	玄米	精米	粗	玄米	精米	粗
明治三十五年	三七五	一四九	三三六	四九三	二五三	一七五
同 三十四年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 三十三年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 三十二年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 三十一年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 三十年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 二十九年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 二十八年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 二十七年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 二十六年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 二十五年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 二十四年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 二十三年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 二十二年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 二十一年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 二十年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 十九年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 十八年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 十七年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 十六年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 十五年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 十四年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 十三年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 十二年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 十一年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 十年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 九年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 八年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 七年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 六年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 五年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 四年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 三年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 二年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五
同 一年	一四九	二六	一七九	四九三	二五三	一七五

商號	住所	氏名	商號	住所	氏名
大 益 商 店	臺北州臺北市大和町二ノ八	蔡 水 田	振興商行臺北支店	同	陳 榮 珍
折 田 商 店	同	折 田 正 雄	同	港町三ノ一四	吳 培 標
明 比 實 平 商 店	同	明 比 實 平	同	同 四 七	曾 大 英
宮 之 前 商 行	同	宮 之 前 盛 隆	株式會社日精米所	同	小 玉 基 平
洽 成 商 行	同	李 顯 儀	以 文 商 店	同	杜 燭 映
重 慶 商 店	同	北 島 靖 造	同	永樂町一ノ四九	

各市街地ニ於ケル大正十四年本島産白米(中等)月別小賣相場 (單位斗)

八四

月次	地名											
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十	平
一	二八七	二八〇	二七六	二九六	二九〇	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八
二	二八七	二八〇	二七六	二九六	二九〇	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八
三	二八七	二八〇	二七六	二九六	二九〇	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八
四	二八七	二八〇	二七六	二九六	二九〇	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八
五	二八七	二八〇	二七六	二九六	二九〇	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八
六	二八七	二八〇	二七六	二九六	二九〇	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八
七	二八七	二八〇	二七六	二九六	二九〇	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八
八	二八七	二八〇	二七六	二九六	二九〇	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八
九	二八七	二八〇	二七六	二九六	二九〇	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八
十	二八七	二八〇	二七六	二九六	二九〇	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八
平均	二八七	二八〇	二七六	二九六	二九〇	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八

各市街地ニ於ケル大正十四年内地産中等米月別小賣相場 (單位斗)

八五

月別	地名											
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十	平
一	四六三	四六六	四六八	四七〇	四七二	四七四	四七六	四七八	四八〇	四八二	四八四	四八六
二	四六三	四六六	四六八	四七〇	四七二	四七四	四七六	四七八	四八〇	四八二	四八四	四八六
三	四六三	四六六	四六八	四七〇	四七二	四七四	四七六	四七八	四八〇	四八二	四八四	四八六
四	四六三	四六六	四六八	四七〇	四七二	四七四	四七六	四七八	四八〇	四八二	四八四	四八六
五	四六三	四六六	四六八	四七〇	四七二	四七四	四七六	四七八	四八〇	四八二	四八四	四八六
六	四六三	四六六	四六八	四七〇	四七二	四七四	四七六	四七八	四八〇	四八二	四八四	四八六
七	四六三	四六六	四六八	四七〇	四七二	四七四	四七六	四七八	四八〇	四八二	四八四	四八六
八	四六三	四六六	四六八	四七〇	四七二	四七四	四七六	四七八	四八〇	四八二	四八四	四八六
九	四六三	四六六	四六八	四七〇	四七二	四七四	四七六	四七八	四八〇	四八二	四八四	四八六
十	四六三	四六六	四六八	四七〇	四七二	四七四	四七六	四七八	四八〇	四八二	四八四	四八六
平均	四六三	四六六	四六八	四七〇	四七二	四七四	四七六	四七八	四八〇	四八二	四八四	四八六

八五

主ナル市街地ニ於ケル臺灣中等玄米卸賣平均相場累年表 (單位一石)

八六

年次	臺北市	基隆市	新竹街	臺中市	嘉義街	臺南市	高雄市
大正十三年	二七〇八	三〇〇〇	三〇〇六	三〇〇七	三〇〇七	三〇〇六	三〇〇六
同十二年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
同十一年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
同十年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
同九年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
同八年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
同七年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
同六年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
同五年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
同四年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
同三年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
同二年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
同元年	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇

主ナル市街地ニ於ケル白米小賣相場(本島産中米)累年比較 (單位一斗)

年次	臺北市	基隆市	新竹街	臺中市	嘉義街	臺南市	高雄市
大正十三年	二六〇八	二六〇〇	二六〇六	二六〇七	二六〇七	二六〇六	二六〇六
同十二年	二二七六	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
同十一年	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
同十年	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
同九年	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
同八年	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
同七年	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
同六年	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
同五年	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
同四年	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
同三年	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
同二年	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
同元年	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇

八七

第八章 臺灣米ノ將來

本島ニ於ケル田面積ハ大正十三年末ニ於テ三十八萬七千五百甲ナルモ嘉南大圳、桃園大圳ノ完成竝ニ其ノ他ノ埤圳新設及改善ノ結果原野及畑地ヨリ水田トナシ得ヘキ面積少ナルヲ即チ之等ノ面積十二萬六千九百甲ヲ以テ豫想セラレハ將來ニ於ケル田面積ハ五十萬七千甲ニ擴張シ得ヘク又畑ノ面積ニ於テハ同十三年末四十萬五千三百甲ナレトモ本島未墾地ノ實狀ニ鑑ミ將來七萬二千甲ヲ擴張スルコト敢テ難事ニアラス而シテ右水田面積ノ内ヨリ蔗作其ノ他ノ難作物ヲ栽培スル面積ヲ控除シ水稻ヲ作付シ得ル面積ヲ算出スルニ第一期作ニ於テ粳米植付面積二十九萬五千四百甲糯米一萬九千六百甲第二期作ニ於テ粳米三十五萬甲糯米七萬八千五百甲（植付割合粳米八六〇糯米一四〇）トシ糯米一、二期ノ割合ハ第一期二期割、第二期八割ノ作付ト看做セリヲ得就中内地種米ハ現狀ヨリ押シテ第一期作ニ於テ二十六萬五千八百甲第二期作ニ於テ十萬五千甲ノ作付ヲ得ヘシ次ニ畑地ニ於テモ最近十箇年平均畑面積ニ對スル陸稻作付面積ノ割合一〇〇ヲ基礎トシ一期及二期ノ作付面積モ亦最近十箇年ニ於ケル陸稻平均作付面積ニ兩者ノ割合即チ第一期ニ其ノ二四〇第二期ニ其ノ七六〇將來ニ於テモ作付アルモノト見込ミ考察スレハ第一期ニ一萬二千五百甲第二期作ニ於テ三萬九千七百甲合計五萬二千二百甲ノ作付面積ヲ得ヘシ

然シテ一甲當リ收量ハ中央研究所農業部試驗及本島ニ於ケル產米ノ施設竝ニ現下ノ全島平均甲當リ收量ヨ

リ推考スルニ在來種第一期作ニテハ十五石五斗第二期作ニ於テハ十三石四斗内地種第一期作ニ於テ十八石五斗第二期作ニアリテハ十六石九斗四升ノ成績ヲ舉ケ得ヘク更ニ陸稻第一期作ニ於テ八石一斗五升第二期作ニ於テ八石二斗八升ヲ得ルノ見込ナレハ將來本島ヨリ移出シ得ヘキ米穀ノ數量ハ七百二十九萬三千石ニ達ス即チ其ノ關係表ノ如シ

一 將來ノ生産額

種別	作付面積	甲當收量	產額
水稻 第一期 在來種	二九、五四一	一五、五〇	四五七、八八五
水稻 第一期 内地種	二六五、八六二	一八、五〇	四、九一八、四四七
水稻 第二期 在來種	二四五、二二七	一三、〇四	三、一九七、七六〇
水稻 第二期 内地種	一〇五、〇九六	一六、九四	一、七八〇、三二六
計	二七四、七六八		三、六五五、六四五
水稻 第一期 在來種	三七〇、九五八		六、六九八、七七三
水稻 第一期 内地種	一九、六三九	一五、五〇	三〇四、四〇四
計	三八、五五八	一三、〇四	一、〇二四、三九六
水稻 第二期 在來種	七八、一九七		一、三二八、八〇〇
水稻 第二期 内地種	一二、五三七	八、二五	一〇二、一七六
計	三九、七〇二	八、二五	三二八、七三二
陸稻 第一期	五二、二三九	八、二八	四三〇、九〇八
陸稻 第二期			
計	七九六、一六三		一一、二一四、一二六

(二) 將來ノ島内消費額

米種別	種別		年消費總額
	人	口	
外國及在來種糯米	本島人	五、五八一、一〇二	六、〇三三、一七一
在來種糯米	内地人	六、〇〇四、三五五	
内地種糯米	内地人	四二三、二五三	一、〇八一
計			六、七六六、九〇七

(三) 將來ノ需給

種別	產額	島内消費額	移出米額	輪移入米額
内地種糯米	六、六九八、七七三	四、五七、五三六	一、〇五二、六〇〇	
外米	一、三二八、八〇〇	一、九四六、六一八		一、九四六、六一八
計	一二、一四、二二六	六、七六六、九〇七	七、二九三、八三七	一、九四六、六一八

若シ特種ノ事情ニ依リ外米ノ輸入不可能ノ場合アリトセハ移出可能額ハ内地種米四百二十九萬四千六百十九石糯米一百五萬二千六百石計五百三十四萬七千二百十九石ナリ

附 錄

臺灣正米市場規則

- 第一條 正米市場設立ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ業務規程ヲ添付シ之ヲ臺灣總督ニ差出スヘシ
- 第二條 正米市場ノ經營者ハ其ノ業務ヲ管理セシムル爲役員ヲ設ケ臺灣總督ノ認可ヲ受クヘシ
- 第三條 業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
- 一、賣買物件ニ關スル事項
 - 二、市場開閉ニ關スル事項
 - 三、賣買者ニ關スル事項
 - 四、仲立人ヲ設ケタルトキハ之ニ關スル事項
 - 五、賣買ノ方法ニ關スル事項
 - 六、賣買ノ履行、手数料及仲立口錢ニ關スル事項
 - 七、賣買高ノ公示及公定相場ノ評定公示ニ關スル事項
 - 八、役員ノ種類、員數、任免及其ノ職務權限ニ關スル事項
 - 九、市場ノ秩序維持及違約處分ニ關スル事項

業務規程ヲ變更セムトスルトキハ臺灣總督ノ認可ヲ受クヘシ

九四

第四條 正米市場ノ經營者ハ左ノ書類ヲ作成シ遲滯ナク之ヲ臺灣總督ニ差出スヘシ

一、毎月相場表

二、毎月賣買高表

三、毎期ノ豫算、決算及事業報告

四、仲立人ヲ設ケタル場合ニ於テハ其ノ仲立人ノ毎期末日現在氏名表

第五條 左ノ場合ニ於テハ正米市場經營者ハ遲滯ナク之ヲ臺灣總督ニ届出ツヘシ

一、臨時ニ市場ヲ開市シ又ハ休止シタルトキ

二、役員其ノ任期中ニ於テ死亡又ハ退任シタルトキ

三、賣買者又ハ仲立人ニ對シ業務規程ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ

四、仲立人ニ異動アリタルトキ

第六條 臺灣總督ハ正米市場經營者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類帳簿又ハ業務若ハ財産ノ狀況ヲ
検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第七條 臺灣總督ハ正米市場經營者、市場ニ於ケル賣買者又ハ仲立人ノ行爲カ法令若ハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スル虞アリト認メタルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一、市場ノ許可ノ取消

二、市場ノ停止

三、役員ノ解職

四、市場ニ於ケル賣買又ハ仲立ノ停止若ハ禁止

臺灣總督正米市場カ投機市場タルニ至リ又ハ至ラムトスルノ虞アリト認メタルトキ亦前項ニ同シ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

九五

臺灣正米市場組合業務規程

第一編 組合組織

第一章 總 則

- 第一條 本組合ハ臺灣正米市場組合ト稱ス
- 第二條 本組合ハ臺北州臺北市ニ於テ臺灣正米市場ヲ經營スルヲ以テ目的トス
- 第三條 本組合ハ一年以上臺灣ニ於テ米穀ノ賣買ヲ業トシ臺北市ニ營業場ヲ有スル者ヲ以テ組織ス
- 第四條 本組合ノ存立期間ハ二十年トス

第二章 組 合 員

- 第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ組合員タルコトヲ得ス
- 一、禁治産ノ宣告ヲ受ケ未タ取消サレサル者
 - 二、破産ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者
 - 三、法律ノ適用上公權ヲ剝奪セラレ又ハ停止セラレタルモノト看做サルル者

- 第六條 新ニ組合員タラムトスル者ハ組合員タルヘキ資格ヲ證スル書面ヲ添ヘ組合員二名以上ノ紹介ヲ得テ別記様式ニ依ル加入申込書ヲ理事長ニ差出スヘシ
- 理事長前項ノ申込書ヲ受理シタルトキハ評議員會ニ諮問シ承認スヘキモノト決定シタルトキハ其筋ノ承認ヲ經テ其ノ旨本人ニ通知スヘシ
- 加入承認ノ通知ヲ受ケタル者ハ之ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ本組合ニ對シテ加盟金ヲ納付シ且信認金ヲ供託スヘシ
- 前項ノ手續ヲ完了スルニ非サレハ組合員タル資格ヲ取得セス
- 第七條 加盟金ハ本組合ノ共同積立金ニ充當シ脱退ノ場合ト雖之ヲ返付セス
- 加盟金額ハ評議員會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム
- 第八條 信認金ハ組合員ノ經費分擔金、市場使用料、入札手数料及過怠金其ノ他組合ニ對シ負擔スル債務ヲ擔保ス
- 信認金額ハ五百圓トシ利息ヲ附セス
- 信認金ノ供託アリタルトキハ信認金預リ證ヲ交付ス
- 第九條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス
- 一、組合員タルヘキ資格ノ喪失

二、死亡
三、除名

第十條 組合員已ムヲ得サル事由ニ因リ脱退セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ理事長ニ届出テ其ノ承認ヲ受テハシ

第十一條 組合員ノ除名ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ限り總會ノ決議ニ依リ理事長之ヲ爲スコトヲ得但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨通知アルニ非サレハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

- 一、組合員カ取引禁止中ノ者ト取引シタルトキ
- 二、組合員カ經費ノ納期ヲ遲滞スルコト二回以上ニ及ヒタルトキ
- 三、組合員カ本業務規程ニ依ル制裁ヲ受クルコト二回以上ニ及ヒタルトキ
- 四、役員ノ職ニ在ル組合員カ本組合ノ業務ヲ執行シ又ハ本組合ヲ代表スルニ當リ不正ノ行爲ヲ爲シ組合ノ信用ヲ毀損シタルトキ

組合員ハ市場ノ内外ヲ問ハス除名セラレタル組合員ト一箇年間取引ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條 脱退シタル組合員ニハ脱退ノ日ヨリ一月以内ニ信認金ヲ返還ス但シ本組合ニ納付スヘキ經費分擔金、市場使用料、入札手数料又ハ過怠金其ノ他ノ債務アルトキハ之ヲ差引クモノトス

第十三條 組合員ニシテ賣買取引上代理人ヲ選任シタルトキハ其ノ住所、氏名及年齢ヲ届出テ理事長ノ承認

ヲ受クルコトヲ要ス但シ代理人ハ二名以上選任スルコトヲ得ス

代理人ヲ解任シタルトキハ直ニ理事長ニ届出ツヘシ

第十四條 組合員住所、氏名又ハ營業所ヲ變更シタルトキハ書面ヲ以テ直ニ其ノ旨ヲ理事長ニ届出ツヘシ代理人ノ住所、氏名ヲ變更シタルトキ亦同シ

理事長ハ組合員又ハ代理人ニ異動變動アリタルトキハ遲滞ナク各組合員ニ通知スヘシ

第十五條 組合員ハ本組合ノ經費ヲ分擔スルノ義務ヲ負フ

第三章 役員

第十六條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一、理事長 一名
- 一、副理事長 一名
- 一、常務理事 一名
- 一、評議員 八名

第十七條 役員ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ理事長、副理事長及常務理事ハ組合員中ニ適任者ナキ場合ニ限り組合員外ヨリ選任スルコトヲ得

第五條ノ規定ハ前項但書ノ規定ニ依ル役員ノ資格ニ付之ヲ準用ス

第十八條 役員ノ任條ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補缺選舉ニ依リ就任シタル役員ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

役員ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄ハ其ノ職務ヲ行フモノトス

第十九條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ役員ニ缺員ヲ出シタルトキハ直ニ補缺選舉ヲ爲スモノトス但シ業務ニ支障ナシト認ムルトキハ評議員會ノ決議ニ依リ次ノ總會迄延期スルコトヲ得

第二十條 理事長ハ事務ヲ總理シ本組合ヲ代表ス副理事長ハ理事長ヲ補佐シ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

常務理事ハ理事長及副理事長ノ命ヲ承ケ業務ヲ執行シ理事長及副理事長共ニ事故アルトキハ理事長ノ職務ヲ代理ス

第二十一條 役員ハ名譽職トス但シ理事長、副理事長及常務理事ハ總會ノ決議ヲ以テ有給ト爲スコトヲ得

第四章 職員

第二十二條 本組合ニ左ノ職員ヲ置ク

一、書記長 一名

一、書記 若干名

書記長ハ役員ノ指揮ヲ承ケ事務ヲ掌ル

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第二十三條 書記長ノ任免ハ評議員會ノ決議ヲ經テ理事長之ヲ行ヒ書記ノ任免ハ理事長之ヲ專行ス職員ノ給與ニ關スル規定ハ評議員會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム

第五章 總會及評議員會

第二十四條 總會ハ定時及臨時ノ二種トス

定時總會ハ毎年二月及八月ノ二回之ヲ召集ス

臨時總會ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ理事長之ヲ召集ス

一、理事長必要ト認メタルトキ

二、評議員會ニ於テ財産及業務ノ狀況ヲ總會ニ報告スル爲總會ノ召集ヲ請求シタルトキ

三、總組合員ノ五分ノ一以上ニ該ル組合員會議ノ目的タル事項ヲ示シテ總會ノ召集ヲ請求シタルトキ

前項第二號及第三號ノ場合ニ於テ理事長二週間以内ニ總會ヲ召集セサルトキハ請求者ハ其ノ筋ノ承認ヲ經テ自ラ之ヲ召集スルコトヲ得

第二十五條 總會ノ招集ハ理事長ニ於テ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ會日、會場及議案ノ要領ヲ示シテ組合員ニ通知スルコトヲ要ス

1011

第二十六條 總會ニ於テ決議スヘキ事項左ノ如シ

- 一、業務規程ノ變更
- 二、役員ノ選任及解任
- 三、經費ノ豫算及分擔金ノ賦課方法
- 四、決算ノ承認
- 五、解 散

六、其ノ他本業務規程ニ依リ總會ノ決議ニ附セシメタル事項

第二十七條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

總會ノ決議ハ出席組合員ノ決議權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル但シ解散ノ決議ハ出席組合員ノ決議權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ爲ス

總會ノ目的タル事項ニシテ組合員ノ一身上ニ關係アル場合ハ其ノ組合員ハ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス解散ハ其筋ノ承認ヲ受クヘキモノトス

第二十八條 總會ノ議長ハ理事長之ニ當ル

第二十九條 組合員ハ代理人ヲ以テ決議權ヲ行フコトヲ得

代理人ハ當該組合員ノ業務擔當者又ハ本組合ノ組合員ニ限ル

第三十條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載シ議長及議長ノ指名シタル出席組合員二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十一條 理事長ノ諮問ニ應セシムル爲本組合ニ評議員會ヲ置キ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

評議員會ハ必要ノ場員隨時理事長之ヲ招集ス

第三十二條 評議員會ノ職務權限左ノ如シ

- 一、總會ニ提出スヘキ議案ヲ審査シ意見ヲ開申スルコト
 - 二、組合ノ財産及業務ノ狀況ヲ監査シ毎會計年度一回以上之ヲ總會ニ報告スルコト
 - 三、總會ノ決議ヲ以テ評議員會ニ委任シタル事項
 - 四、其ノ他本業務規程ニ依リ評議員會ノ權限ニ屬セシメタル事項
- 第三十三條 第二十七條、第二十八條及第三十條ノ規定ハ評議員會ニ之ヲ準用ス

第六章 會 計

第三十四條 本組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ヲ以テ終ル

1011

第三十五條 本組合ノ經費ハ毎年定ムル所ノ經費ノ賦課方法ニ依リ割當テタル組合員ノ分擔金、市場使用料、入札手数料、信認金利息其ノ他ノ雜收入ヲ以テ之ニ充ツ

第三十六條 經費ノ決算ニ剩餘金ヲ出シタルトキハ之ヲ組合ノ共同積立金トス
共同積立金ハ總會ノ決議ヲ經ルニ非サレハ使用スルコトヲ得ス

第二編 組合業務

第一章 總則

第三十七條 本組合ハ毎日午前九時ヨリ午後三時迄市場ヲ開市ス但シ毎日曜日、大祭日、臺灣總督府始政紀念日、年首三日及年末四日間ハ休止ス

第三十八條 本組合ノ都合ニ依リ臨時ニ市場ヲ開市又ハ休止スルトキハ豫メ其ノ旨市場内ニ揭示ス

第三十九條 本市場ニ於テ賣買シ得ヘキ物件ハ専ラ米穀ニ限ル

第四十條 本市場ニ於テ賣買契約成立シタルトキハ當事者双方ニテ即日其ノ品名、數量、價格、受渡時日及受渡場所ヲ市場ニ届出テ其ノ登録ヲ受クヘシ

第四十一條 本市場ニ於ケル賣買ハ直取引又ハ延取引トス

第四十二條 直取引ニ於テハ其ノ一方ノ當事者延取引ニ於テハ其ノ雙方ノ當事者本組合ノ組合員タルコトヲ要ス

第四十三條 本市場ニ於ケル取引ハ轉買、買戻、清算其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス現物ノ授受ニ依ルノ外其ノ決済ヲ爲スコトヲ得ス

第四十四條 本市場ニ於テハ三名ノ公定相場評定委員ヲ設ケ其ノ入札ニ依リ毎開市日ノ賣買ノ氣配ヲ基準トシテ標準相場ヲ決定シ之ヲ市場ニ揭示ス

第四十五條 理事長ハ毎月五日迄ニ前月中本市場ニ於テ爲サレタル賣買高ヲ市場ニ揭示ス

第二章 仲立人

第四十六條 仲立人ハ賣主又ハ買主ノ依頼ニ應シ本市場内ニ於テ賣買ノ媒介ヲ爲スノ外自己ノ名ニ於テ賣買ヲ爲スコトヲ得ス

仲立人ハ業務規程ニ依リ取引禁止中ニ在ル者ノ賣買ノ媒介ヲ爲スコトヲ得ス

第四十七條 仲立人ノ定員ハ六名以内トス

第四十八條 仲立人ハ一年以上臺北市内ニ居住シ米穀賣買ノ經驗アリト認メラレタル者ニ限ル第五條ノ規定ハ仲立人ノ資格ニ付之ヲ準用ス

第四十九條 仲立人タラムトスル者ハ書面ヲ以テ其ノ旨理事長ニ申出ツヘシ

理事長前項ノ申出ヲ受理シタルトキハ評議員會ニ諮問シ承認スヘキモノト決定シタルトキハ其ノ筋ノ承認ヲ經テ其ノ旨本人ニ通知スヘシ

第五十條 前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナリ信認金千圓ヲ本市場ニ供託スヘシ信認金ニ對シテハ利子ヲ附セス

信認金ハ仲立人除名セラレ又ハ廢業シタルトキ一箇月以内ニ之ヲ返還ス但シ市場ニ對シ履行スヘキ債務アルトキハ之ヲ差引クモノトス

第五十一條 仲立人ノ受クヘキ仲立手数料ハ賣買者雙方ヨリ一袋ニ付金一錢トシ受渡完了ノ上請求スルモノトス

前項ノ手数料額ハ任意ニ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第五十二條 仲立人正當ノ理由ナクシテ三十日以上休業シタルトキハ評議員會ノ決議ニ依リ除名スルコトアルヘシ

第五十三條 仲立人廢業セムトスルトキハ事由ヲ具シ書面ヲ以テ其ノ旨理事長ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

第五十四條 第十三條、第十四條ノ規定ハ仲立人ニ付之ヲ準用ス

第三章 直取引

第五十五條 直取引ノ期間ハ五日ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十六條 直取引ハ現物、見本又ハ銘柄ニ依リテ契約ヲ爲スヘシ

第五十七條 直取引ハ相對又ハ入札ニ依リテ契約ヲ爲スヘシ

入札ノ方法ハ評議員會ノ議ヲ經テ理事長隨時之ヲ定ム

第五十八條 組合員以外ノ者組合員ト直取引ヲ爲シタルトキハ米一袋ニ付金二錢ノ割合ヲ以テ組合ニ對シ市場使用料ヲ納付スヘシ

第四章 延取引

第五十九條 延取引ノ期間ハ四十五日ヲ超ユルコトヲ得ス

第六十條 延取引ノ呼値ハ百斤建トス

第六十一條 延取引ハ一口ノ數量五袋ヲ下ルコトヲ得ス

第六十二條 延取引ハ見本又ハ銘柄ニ依リテ契約ヲ爲スヘシ

第六十三條 延取引ハ相對ノ契約ニ依ルヘシ

第六十四條 理事長必要ト認ムルトキハ延取引ニ付賣買契約履行ノ擔保トシテ證據金ヲ本組合ニ供託スヘキコトヲ命スルコトヲ得

證據金ノ額及供託方法等ハ評議員會ノ議ヲ經理事長隨時之ヲ定ム

證據金ハ契約ノ履行アリタルトキハ供託者ニ返還シ賣買取引上ノ債務ヲ履行セサル者アル場合ニ於テ理事長被違約者ニ交付ス

第五章 受 渡

第六十五條 受渡場所ハ臺北州臺北市、臺北州基隆郡基隆街及高雄州高雄郡高雄街トス

第六十六條 受渡ハ總テ本組合職員又ハ組合ノ屬託シタル者立會ノ上之ヲ爲スヘシ

組合員ハ本組合ヨリ受渡ヲ完了シタルコトノ證明ヲ受クルコトヲ要ス

第六十七條 賣買契約ノ解除又ハ受渡期限ノ延期ハ其ノ理由ヲ詳具シ理事長ノ承認ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第六章 仲裁判斷

第六十八條 賣買者ハ組合員タルト否トヲ問ハス本市場ニ於ケル米穀ノ賣買取引ニ關スル紛議ノ仲裁ヲ本市

場ニ請求スルコトヲ得

第六十九條 仲裁ヲ請求セムトスルトキハ當事者雙方ヨリ係爭事實及理由ヲ詳記シタル書面ヲ以テ其ノ旨理事長ニ申出ツヘシ

理事長前項ノ申出ヲ受理シタルトキハ當事者雙方ヲシテ本市場ノ仲裁判斷ニ對シ後日異議ヲ述ヘサル旨ヲ契約セシメタル後之ヲ評議員會ノ議ニ附スヘシ

第七十條 仲裁ハ評議員會ニ於テ審理決定シ理由ヲ附シタル判斷書ニ依リ理事長ノ名ヲ以テ之ヲ爲ス

第七十一條 係爭事件ニ利害關係ヲ有シ又ハ係爭當事者ト親族關係ニ在ル役員ハ當該仲裁ノ審理決定ニ參與スルコトヲ得ス

第七章 制 裁

第七十二條 組合員ニ非サル者組合員トノ取引ノ債務ヲ履行セサルトキハ當該組合員ハ其理事長前項ノ届出ヲ受理シタルトキハ其ノ事實ヲ調査シタル上債務ノ不履行カ組合員ニ非サル者ノ責ニ歸スヘキ場合ニ限リ其ノ事實ノ概要及當事者ノ氏名住所ヲ三日間市場内ニ揭示シ且ツ之ヲ各組合員ニ通知スヘシ

組合員ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ爾後一箇年間其ノ者ト米穀ノ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

第七十三條 組合員本市場ニ於ケル取引上ノ債務ヲ履行セサルトキ若ハ本業務規程又ハ本組合ノ制定シタル

規則ニ違反シタルトキハ理事長ハ評議員會ノ議決ヲ經テ五百圓以下ノ過怠金ニ處ス

第七十四條 仲立人本業務規定又ハ本組合ノ制定シタル規則ニ違反シタルトキハ理事長ハ評議員會ノ議ヲ經テ五百圓以下ノ過怠金ニ處シ若ハ期間ヲ定メテ市場ニ於ケル仲立ヲ停止シ又ハ除名スルコトヲ得

第三編 雜 則

第七十五條 本組合ニ於テ使用スル印章左ノ如シ

臺灣正米
市場組合
之印

臺灣正米
市場組合
事務所印

臺灣正米
市場組合
理事長印

臺灣正米
市場組合
副理事長印

臺灣正米
市場組合
常務理事印

臺灣正米
市場組合
會計之印

臺灣正米市場組合契

第七十六條 本組合ノ處務細則役員實費支給規程其ノ他業務ノ處理ニ必要ナル細則ハ評議員會ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム

(別記) 加入申込書

住所
營業所

氏名

生年 月 日

私儀貴組合諸規程ヲ遵守致候ハ勿論其ノ他御指圖ニハ一切違背致間敷候間加入御承認被下度資格證明書相添へ奉願候也

年 月 日 右 氏 名 印

住所

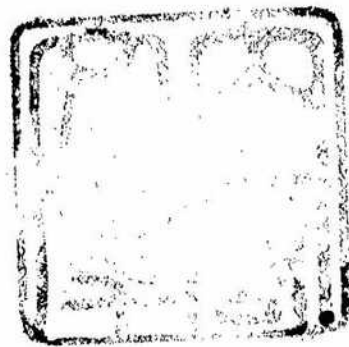
紹介人 氏 名 印

住所

同 氏 名 印

臺灣正米市場組合理事長

殿



大正十五年三月二十八日印刷
大正十五年三月三十一日發行

臺灣總督府殖產局商工課

臺北市東門町一〇四番地

印刷人

加

藤

豐

吉

臺北市京町一丁目四十三番地

印刷所

小

塚

印

刷

工

場